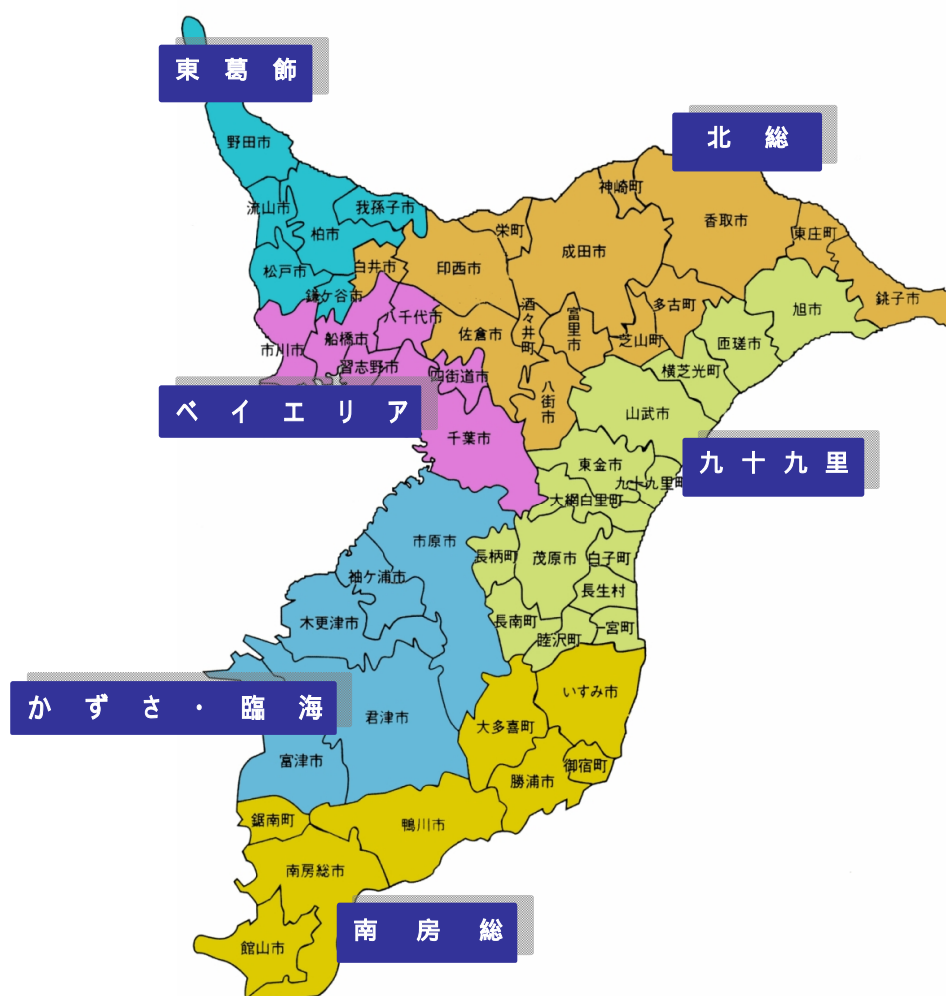


6 県内各地域のポテンシャルを最大限に生かす観光戦略(地域編)

- ・本県は三方を海に囲まれ、都市と田舎が共存し、歴史的にも江戸時代には幕府の直轄地や小藩が多かったため、各地域に特徴を持った文化・歴史が育まれ、祭りや食文化など多彩な地域資源を有しています。
- ・現在の観光の全国的な趨勢として、旅行者のニーズの多様化や参加体験型観光ニーズの高まりという変化が起こっており、こうした変化に対応するためには、観光の目的地(着地)側において地域資源を活用し、その地域ならではの商品の提供など、着地型観光の展開が必要となっています。
- ・このため、本計画では県を一つのまとまりとしてではなく、「ベイエリア」、「東葛飾」、「北総」、「九十九里」、「かずさ・臨海」の6つの地域に分け、地域の特性や地の利を最大限に引き伸ばすための観光振興を進めていきます。
- ・また、古くから県内各地をつなぎ、人々の交流の歴史や物語の残る「街道」や「舟運」、「海運」なども活用し、ストーリー性を持たせた地域を超える広域の連携も促進させ、県内を広く周遊させる取組も進めていきます。



(1) ベイエリア地域

都心に近く、東京ディズニーリゾートや幕張メッセなど県を代表する観光施設があり、商業施設や工場なども多数あるベイエリア地域は、県内外からも多くの方が訪れる交流の多い地域です。

また、市民意識が高く、ボランティアガイドの活動も活発な地域で、歴史散策のまち歩きなどにも東京近郊などから多くの観光客が訪れています。



【幕張メッセ（千葉市）】



【三番瀬海浜公園（船橋市）】



【県立現代産業科学館（市川市）】



【谷津バラ園（習志野市）】



【千葉県立美術館（千葉市）】

< 観光地点、行祭事・イベント 観光入込上位 5 (H24) >

(単位：万人)

観光地点	市町村名	入込客数	行祭事イベント	市町村名	入込客数
東京ディズニーリゾート	浦安市	2,750	千葉神社初詣	千葉市	68
幕張メッセ	千葉市	556	ふなばし市民まつり	船橋市	55
パサール幕張(上・下)	千葉市	489	中山法華経寺初詣	市川市	35
QVCマリンフィールド	千葉市	151	八千代ふるさと親子祭花火大会	八千代市	22
千葉県総合スポーツセンター	千葉市	78	船橋大神宮初詣	船橋市	15

出典：平成 24 年千葉県観光入込調査

東京ディズニーリゾートの入込客数については、H24 年 4 月～H25 年 3 月の人数(株式会社オリエンタルランドホームページより)

ベイエリア地域の現状と課題

ア ベイエリア地域における現状

都心から近く、公共交通機関も発達しており、ららぽーと船橋、三井アウトレットパーク幕張、I K E Aなど商業施設のバリエーションも豊富で、最近では、国内最大級のショッピングモールであるイオンモール幕張新都心もオープンし、県外からの来訪も多い地域となっています。

中山法華経寺、千葉神社、船橋大神宮などの寺社仏閣や美術館・博物館等の文化施設も充実しているため、まち歩きなど日帰り観光に適しています。また、市民意識が高く、ボランティアガイドの活動も盛んな地域となっています。

全国から多くの観光客が集まる東京ディズニーリゾートを有する地域で、外資系高級ホテル、国内一流ホテルからビジネスホテルまで多くのホテル群があります。また、幕張メッセ、舞浜地区のコンベンション施設などのMICE機能も持ち合わせています。

子供から大人までだれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことができる県立現代産業科学館を「千葉県次世代エネルギーパーク」の中核施設とし、その他のエネルギー関連施設を活用し、見て、触れて、学べる環境学習の場を提供しています。

イ ベイエリア地域における課題

他の産業が充実し、また、都市型住民が多く住んでいる地域のため、地域住民に「観光地」というイメージが希薄であり、観光客をもてなす機運が醸成されていないという本質的な課題があります。

県内における人口密集地域の一つであるため、慢性的に交通渋滞が激しい地域であり、バスや車での移動にあまり適しておらず、まち歩きをするにも、交通量が多いため、歩行者の安全確保も課題となっています。

県を代表する東京ディズニーリゾートや幕張メッセなど大型集客施設があるものの、なかなか周辺の観光施設への周遊に結びつけられていないという課題も抱えています。

地域の観光ビジョン（将来像）

ア 施策の展開

都心に隣接するとともに、東京湾に面し、大規模集客施設や商業施設、工場等が集積している強みや、交通アクセスが充実しているという強みを生かし、ボランティアガイドの活発な活動をさらに拡充することで、まち歩きや工場見学などバリエーションにも富んだ観光を推進します。

また、海辺空間が残っているという魅力も生かして、短時間でも気軽に訪れることのできる観光地づくりを目指し、観光客のリピーター化を図っていくとともに、交通アクセスの改善にも取り組んでいきます。

さらに、幕張新都心や浦安地区のMICE機能を活用し、国内外からの観光客を呼び込むことができる国際会議やイベント等の積極的な誘致やアフターコンベンションの受入などにも取り組んでいきます。

イ 地域の取組

まち歩き観光の推進

ボランティアガイドの拠点や人出不足の解消のため、担い手のネットワーク化を図るとともに、鉄道会社やバス会社とも連携し、食べ歩きなど女性やファミリー層も楽しめる取組も進めていきます。

産業観光の推進

受入企業の確保や行政・企業間あるいは企業同士の連携を促進させるため、魅力的な施設や体験活動を掘り起こし、PRを強化していくとともに、企業とホテルなどが連携できる仕組みづくりにも取り組んでいきます。

海辺や歴史・文化資源の活用推進

ベイエリア地域の特徴でもある海辺の資源を活用し、歴史資源と近代的な観光資源を組み合わせることで、シニア層だけではなく、ファミリー層へのPRに取り組んでいきます。

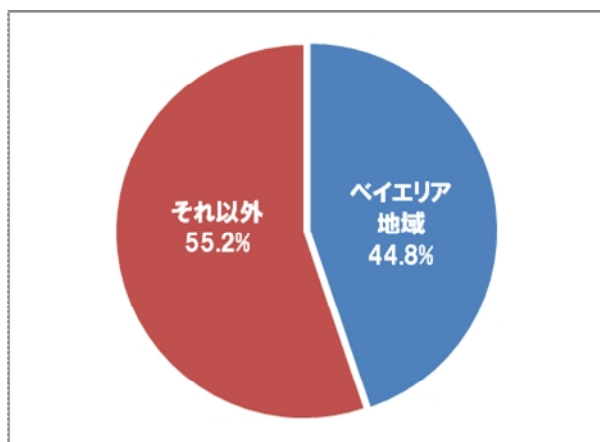
グルメを生かした観光の推進

「江戸前」などのブランド化を積極的に進め、道の駅、パサール幕張などを活用した情報発信により、地域のブランドグルメの周知を図ります。

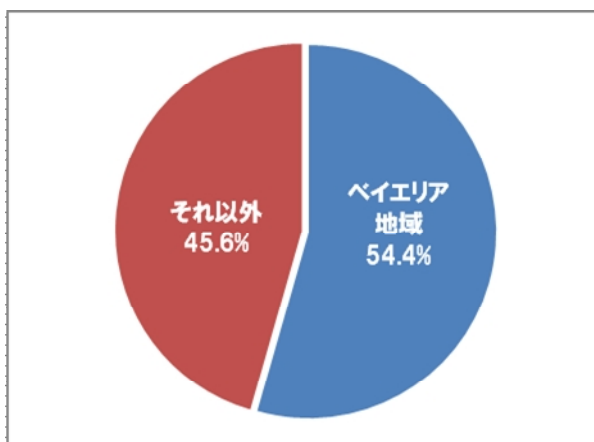
数値から見たバイエリア地域

県全体におけるバイエリア地域

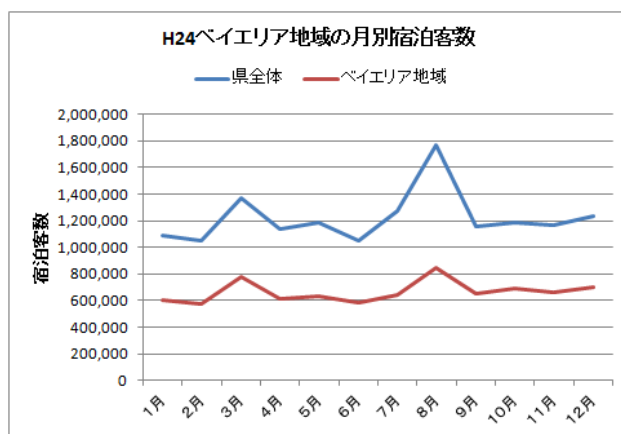
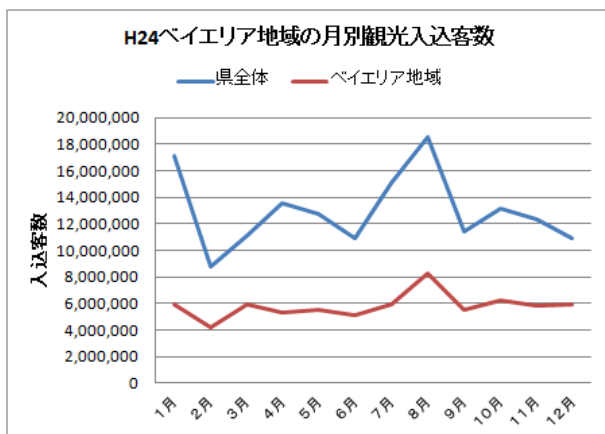
【H24 観光入込客】



【H24 宿泊客】



月別観光入込客数（H24）と月別宿泊客数（H24）



【事例】 まち歩き「太宰治文学コース」（船橋市）

今なお、根強いファンを持つ昭和を代表する文豪 太宰治は、1年3か月を船橋で暮らしておりました。

文学碑や旧居跡など、昭和の文豪・太宰治が愛した船橋ゆかりの地を観光ボランティアガイドが案内して巡るほか、太宰が逗留した「割烹旅館玉川」での昼食、船橋駅そばのミニシアターで太宰作品（黄金風景 他）の朗読を聞きながら、太宰カクテル3種（玉川・斜陽・晩年）の試飲会なども楽しめます。



(2) 東葛飾地域

江戸川と利根川に囲まれた東葛飾地域は、江戸時代には舟運で栄え、数多くの宿場を中心に交流が活発であった地域で、現在も多くの歴史資源が残っています。

都心からのアクセスや地域内の公共交通機関も充実しており、観光ボランティアガイドの活動に支えられ、まち歩き観光など気軽に観光が楽しめる地域となっています。



【あけぼの山農業公園(柏市)】



【流鉄流山線(流山市・松戸市)】



【県立関宿城博物館(野田市)】



【矢切りの渡し(松戸市)】



【ファイターズタウン鎌ヶ谷(鎌ヶ谷市)】



【手賀沼親水公園(我孫子市)】

< 観光地点、行祭事・イベント 観光入込上位 5 (H24) >

(単位:万人)

観光地点	市町村名	入込客数
県立柏の葉公園	柏市	109
道の駅しょうなん	柏市	104
戸定歴史館	松戸市	65
(株)千秋社清水公園	野田市	40
野天風呂湯の郷	野田市	32

行祭事・イベント	市町村名	入込客数
桜まつり(松戸市)	松戸市	81
松戸まつり	松戸市	23
松戸花火大会	松戸市	20
さくらまつり(野田市)	野田市	19
柏まつり	柏市	72

出典:平成 24 年千葉県観光入込調査

東葛飾地域の現状と課題

ア 東葛飾地域における現状

都心に近く、戸定邸、本土寺、新撰組流山陣屋跡などの歴史資源など多彩な観光地点や集客力の高いイベントがある地域で、活発に活動している観光ボランティアが案内するまち歩き観光やサイクリング、ランニングなどスポーツを行う環境も整備されておりスポーツ観光も活発な地域です。

野田のしょうゆや流山のみりんなど、古くから産業が盛んな地域で、現在でもキッコーマンもの知りしょうゆ館や国内最大級の大規模自動化工場の雪印メグミルク野田工場など工場見学を受け入れている工場も多い地域です。

都市部にありながら、郊外には利根川や江戸川、手賀沼など豊かな自然環境があり、肥沃な農地に恵まれ、全国有数の産地である梨のほか、枝豆、にんじんなど、果樹や野菜の生産が盛んです。そのため、あけぼの山農業公園や梨狩りなど農業体験のできる観光資源が豊富です。

イ 東葛飾地域における課題

通年型や現代風の観光スポットが少なく、観光地点が点在化し有名な観光施設も少ないため、観光地としてのイメージが浸透していません。地元の人々にも観光の必要性が認識されておらず、観光客をもてなす機運が醸成されていないという課題があります。

都市部の宿命として慢性的な渋滞が発生しており、地域によってはアクセスが悪く、大型バスが止められるスペースが無く、まち歩きをするにも交通量が多いため、歩行者の安全確保も課題となっています。

地域には経済波及効果のある観光用の宿泊施設や有料施設が少なく、観光産業の基盤が弱いため、行政、事業者、商工団体の連携が希薄であり、地域の経済効果に影響を及ぼすほどには至っていません。

地域の観光ビジョン（将来像）

ア 施策の展開

古民家や商家、寺社仏閣に加え、しょうゆやみりんにまつわる歴史など、数多くの歴史資源が残っており、こうした歴史資源に触れるまち歩きを一層充実させていくとともに、古民家等の観光への活用なども進めていきます。

また、釣りやヨット、カヌーが楽しめる手賀沼、利根川、江戸川などの水辺資源や、その周辺に整備されたサイクリングロードなど、水辺の魅力を活用した観光も進めていきます。

さらに、JR常磐線やつくばエクスプレスなど鉄道沿線を中心とした商業施設やアミューズメント施設にはこれまでも県内外からの多くの人々が訪れてきており、ショッピングや遊びなどに併せて気軽に観光ができる観光地づくりを目指していくとともに交通アクセスの改善にも取り組んでいきます。

イ 地域の取組

まち歩き観光の推進

地元の人々の「おもてなし」の心の醸成を図るとともに、地域内の鉄道などの交通機関と連携し、歴史や自然資源だけでないバリエーション豊かなまち歩きのモデルコースの開発に取り組んでいきます。

歴史・文化資源の活用推進

都心からのアクセスが良く地元にも多くの住民がいるため、ターゲットを細分化しても一定の誘客が可能であるメリットを生かし、歴女などの歴史マニアや写真愛好家などマニア向けや工場見学、農業体験など、テーマを絞った広域的な周遊ルートの造成に取り組んでいきます。

水辺の魅力を生かした観光の推進

手賀沼、利根川、江戸川など、地域にある豊富な「水辺」の資源を活用し、歴史資源や近代的な観光資源を組み合わせることで、シニア層だけではなく、ファミリー層へのPRに取り組んでいきます。

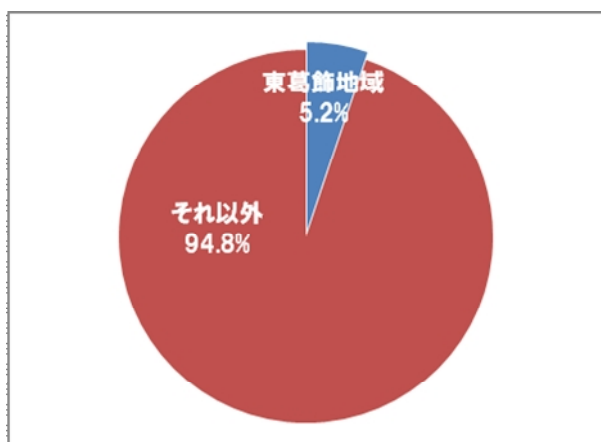
グルメを生かした観光の推進

梨、白みりん、しょうゆなど知名度の高い素材と、都市部にあることから様々なジャンルのレベルの高い飲食店が数多くあるという強みを生かし、有名店による地産地消を生かした商品開発などを通じて地域特性を前面に出したPRに取り組んでいきます。

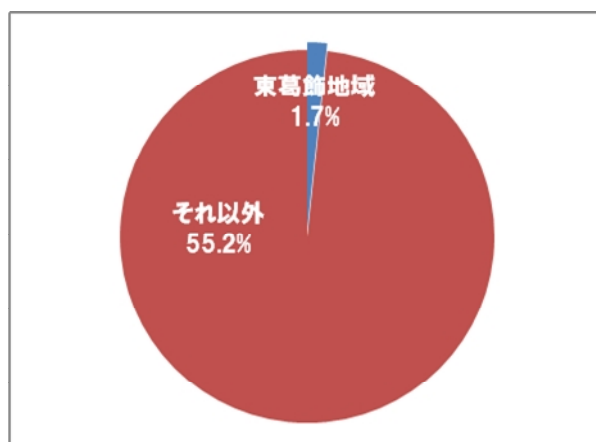
数値から見た東葛飾地域

県全体における東葛飾地域

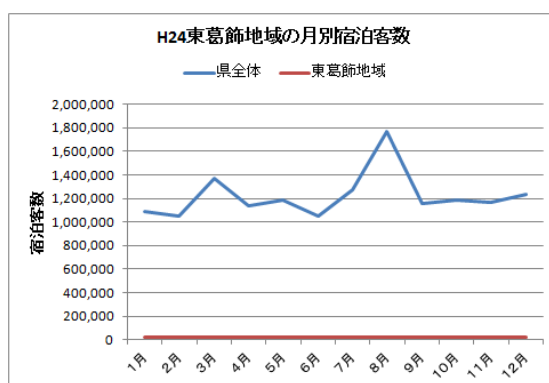
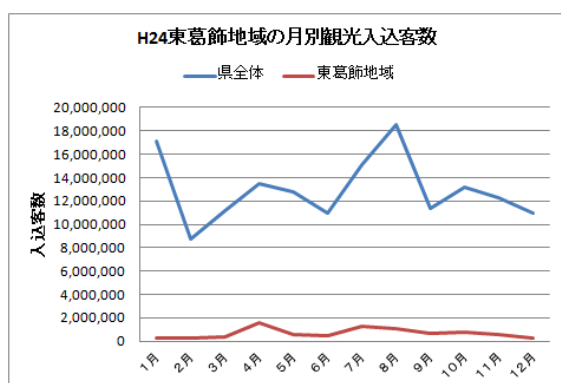
【H24 観光入込客】



【H24 宿泊客】



月別観光入込客数（H24）と月別宿泊客数（H24）



【取組事例】 古商家を再生した観光拠点

「松戸探検隊ひみつ堂」(松戸市)

大正時代の旧店舗の一角を観光・文化の交流スペースとしてリニューアル。観光ボランティアガイドなどの市民有志が担い手となり、観光案内&無料休憩施設として設置されました。

松戸の歴史や、見どころ・味処の探検や、観光スポットの案内、多彩なイベントなどを通じて地域活性化を図っています。



(3) 北総地域

「空の玄関」成田空港を抱え、空港を利用する訪日外国人観光客だけでなく、LCC就航による国内線の充実により県外からの観光客の増加も見込まれる地域です。

地域内には成田山新勝寺や海産物が豊富な銚子、古いまち並みが残る佐原など全国的に知名度のある観光地があり、房総のむらや佐倉・佐原の歴史地区などではドラマや映画のロケの受入も盛んとなっています。



【成田国際空港（成田市）】



【国立歴史民俗博物館（佐倉市）】



【銚子電鉄（銚子市）】



【県立房総のむら（栄町）】



【芝山仁王尊・観音教寺（芝山町）】



【佐原の大祭（香取市）】

< 観光地点、行祭事・イベント 観光入込上位 5（H24） >

（単位：万人）

観光地点	市町村名	入込客数	行祭事・イベント	市町村名	入込客数
成田山新勝寺	成田市	998	佐原の大祭(夏祭り・秋祭り)	香取市	74
香取神宮	香取市	204	成田祇園祭	成田市	45
宗吾霊堂	成田市	141	成田山紅葉まつり	成田市	30
道の駅水の郷さわら	香取市	110	佐倉の秋祭り	佐倉市	20
道の駅くりもと「紅」小町の郷	香取市	90	芝山仁王尊・観音教寺(初詣)	芝山町	20

出典：平成 24 年千葉県観光入込調査

北総地域の現状と課題

ア 北総地域における現状

成田空港の年間発着枠の拡大やLCC就航による国内線の充実により県外や海外からの観光客の増加が見込まれる地域で、鉄道アクセスの向上により、千葉ニュータウン地域などでは地域内人口の増加も見込まれているほか、東関東自動車道酒々井ICの供用に合わせた酒々井プレミアム・アウトレットの開業などにより、地域への人の流れが一層活発になりつつあります。

成田空港や成田山新勝寺、日本一早い銚子の初日の出など全国的に有名な観光地を有しており、佐原の大祭や成田山新勝寺、香取神宮の初詣など集客力のある行祭事や、富里のスイカロードレース、印旛沼周辺のサイクリングロード、銚子のイルカ・クジラウォッチングなど特色のあるイベントやアクティビティも充実しています。

「空の玄関」成田空港周辺には大型のホテルが立地し、海外からの訪日外国人旅行客の受入体制など外国人向けのインフラの整備が進んでいる地域で、海外からの旅行客も多く見かけられる地域となっています。

伊能忠敬の故郷や天保水滸伝の舞台など、ストーリー性のある観光地があり、日本の伝統文化を体験できる房総のむらや小野川沿いの町並みなどはテレビや映画のロケ地にもなっており、利根川や小野川などを利用した舟運や、銚子の日本ジオパーク認定や国内初の洋上風力の実証実験など、新たな観光資源を生かした誘客も期待できる地域です。

イ 北総地域における課題

全国的に有名な観光地である成田、佐原、銚子地域では、公共交通機関の利便性の低さを補うため、空港へのアクセス改善、空港を中心とする周辺地域の渋滞緩和、圏央道及び銚子連絡道路などのアクセス道路の更なる整備推進などを行っていく必要があります。

成田空港周辺の地域では、地域内の連携を積極的に進め、空港を訪れた観光客を積極的に取り込んでいくことも必要となります。

千葉ニュータウン周辺地域は、地域内人口も増加しつつあり、さらには商業施設も増え、買い物に訪れる方も増えてきています。その一方で、豊かな自然や歴史資源もあり、こうした新住宅地の住民や買い物客などを里山めぐりや農業体験など観光面でも取り込んでいく必要があります。

地域の観光ビジョン（将来像）

ア 施策の展開

集客力の高い観光拠点を中心に、「食」や「歴史」などテーマ性を持たせ、観光客や空港利用客の周遊を目指し、広域で連携することで、その経済効果を地域に広く浸透させていくとともに、交通アクセスの改善にも取り組んでいきます。

また、成田空港を中心とした地域においては、訪日外国人観光客の受入体制を整備し、国際都市としてのブランドイメージと知名度の向上を図っていきます。

イ 地域の取組

海外からの観光誘致の推進

外国人向けの観光案内看板やパンフレットの充実はもちろん、国際都市として外国語教育や自分たちの地域を知るための地域学習を通じて、自分の住む地域に誇りと愛着をもって訪日外国人観光客を受け入れる観光地づくりを進めていきます。

良好な景色などを活用したドライブ観光の推進

利根川沿いや銚子の海など季節を問わず景色の良いロケーションや四季折々の花を楽しむイベントなどを生かし、圏央道の開通による県外のドライブ観光客の増加に対応して、集客力のある道の駅を活用し、地域の観光情報発信の一元化やドライブコースの開発などに取り組んでいきます。

観光拠点の広域連携と歴史・文化資源を活用したフィルムツーリズムの推進

各地に点在する観光資源を、年間行事の増加やグッズの開発などにより個々の魅力を高め、集客力の高い観光拠点を中核として、「時代」や「テーマ」などによって広域的に連携させます。

また、房総のむらや佐倉の武家屋敷などにおけるドラマロケを積極的に活用して地域知名度の向上を図っていきます。

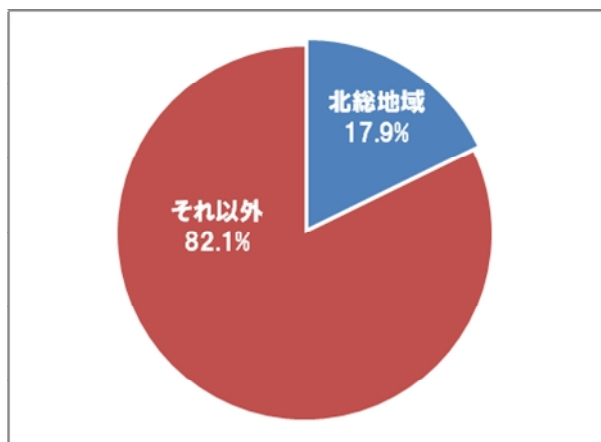
グルメを生かした観光の推進

豊かな農林水産物や、八街の落花生、銚子つりきんめ、醤油など県を代表するブランド特産品を有するポテンシャルを生かし、北総地域の知名度を高めていきます。

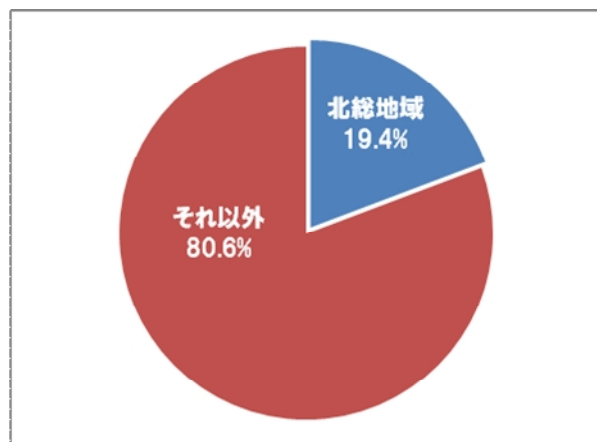
数値から見た北総地域

県全体における北総地域

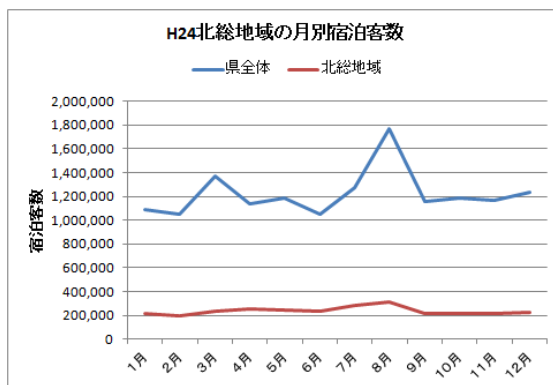
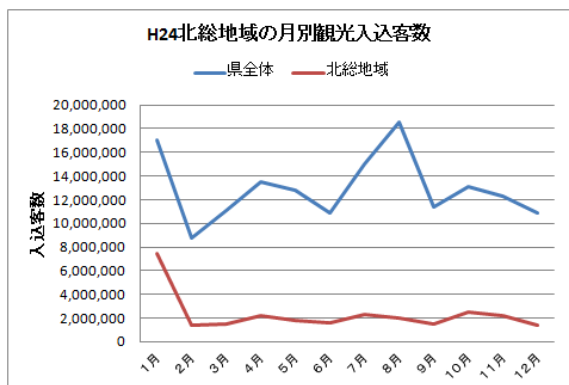
【H24 観光入込客】



【H24 宿泊客】



月別観光入込客数（H24）と月別宿泊客数（H24）



【事例】「江戸優り(まさり)」佐原（香取市）

佐原は、利根川下流に位置する商都で、江戸時代舟運による米の輸送の中継地として栄えた町です。

佐原の大きな特徴は、作られた観光地ではなく、実際に生活して商売を営んでいる土地であるところで、先人たちから伝えられてきた「江戸優り」の誇りをもとに、現在では、町の中心を流れる小野川のほとりにある伊能忠敬記念館をはじめ、歴史的な町並みの保存が進められ、多くの観光客が訪れています。

また、300年前から地域に伝わる佐原の大祭を自分たちが楽しむ祭りから「魅せる祭り」へと変貌させたことで、毎年多くの観光客を魅了しています。



(4) 九十九里地域

地域に広がる九十九里浜には多くの海水浴場が設置されており、夏場には多数の観光客が訪れる地域です。

また、豊富な農水産物が味わえ、地引網体験やイチゴ狩りなどができることから、海水浴客以外にも多くの観光客が訪れるほか、スポーツ合宿なども盛んに行われています。



【道の駅 オライはすぬま(山武市)】



【茂原七夕まつり(茂原市)】



【飯高檀林跡(匝瑳市)】



【飯岡刑部岬展望館(旭市)】



【日本エアロビクスセンター(長柄町)】

< 観光地点、行祭事・イベント 観光入込上位 5 (H24) >

(単位:万人)

観光地点	市町村名	入込客数
ふれあいパーク八日市場	匝瑳市	104
道の駅オライはすぬま	山武市	103
白子温泉郷	白子町	42
白子テニス村	白子町	30
一宮・東浪見・釣ヶ崎海岸(サーフィン)	一宮町	27

行祭事・イベント	市町村名	入込客数
茂原七夕まつり	茂原市	82
いいおかいYOU・遊フェスティバル	旭市	14
旭市七夕市民まつり	旭市	12
やっさまつり	東金市	12
茂原公園桜まつり	茂原市	12

出典:平成 24 年千葉県観光入込調査

九十九里地域の現状と課題

ア 九十九里地域における現状

千葉県の名詞ともいえる「九十九里浜」を中心に、県内の約3分の1の数の海水浴場が広がる九十九里地域は、海水浴はもちろん、ビーチスポーツやサーフィン、スポーツ合宿などが盛んな地域で、飯岡刑部岬から望む九十九里浜の雄大な景色は「日本の朝日百選」、「日本の夜景百選」にも選ばれています。

日本最古の大学と言われる飯高檀林跡や、日本唯一の「四方懸造」である笠森観音など数多くの趣のある寺社仏閣を有し、茂原七夕まつりや八重垣神社祇園祭など県外にも知名度の高いお祭りは地域住民の誇りとして地域を盛り上げ、観光に訪れた人々を楽しませてくれています。

九十九里地はまぐり、マイワシ、アンコウ、磯ガキなどの海産物や、メロン、トマト、ねぎ、たまねぎなどの農産物が豊富にとれるほか、豚もつ料理などが味わえ、地引網体験やイチゴ狩りなどの体験型観光には近隣から多くのファミリー層が訪れています。

イ 九十九里地域における課題

通年型で集客力のある観光拠点が乏しく、春から夏にかけてのイベントシーズンや夏の海水浴場など集客に季節的な偏りがあり、秋から冬にかけての観光が弱い傾向にあります。

また、近年のレジャーの多様化により、海水浴に訪れる観光客も年々減少しています。

今後は、砂浜の価値を見直し、観光客のニーズに合わせ、海水浴以外にも新たに砂浜を活用することが求められています。

豊富な農水産物があるにも関わらず全国的に知名度の高いものが少ないため、農水産業をはじめとした各産業が連携し、地域の特産品の知名度を高めていく必要があります。

観光施設が点在化していることから、地域間の連絡を強化するため、圏央道の更なる機能強化、銚子連絡道路、長生グリーンラインなどの圏央道からのアクセス道路の更なる整備推進が必要です。

また、鉄道の駅やバス停等からの二次交通の不足もネックとなっています。

地域の観光ビジョン（将来像）

ア 施策の展開

九十九里浜のブランドイメージを強みとして、海水浴だけではなく、ターゲットとなる観光客のニーズやトレンドに合わせ、砂浜の新たな価値の掘り起こし、ゆっくりとくつろぎ海を楽しめるリゾート空間の創出やスポーツ施設の活用などを通じ、夏場だけでなく通年型や周遊型の観光を目指していきます。

また、圏央道の延伸を大きな契機として、海産物だけでなく農産物も活用した新たな商品開発の取組や道の駅などのネットワーク化による効果的なPRを進めるとともに、交通アクセスの改善など地域間の連携強化にも取り組んでいきます。

イ 地域の取組

環境改善とホスピタリティの強化によるリピーター客の確保

圏央道東金・木更津間の開通により交通アクセスが飛躍的に改善されることを契機に休憩スポットの充実や受け入れ側のホスピタリティの強化に取組み、観光客のリピーター化を図っていきます。

海を活用した新たな観光の推進

海水浴離れによる観光客の減少の歯止めのため、砂浜の価値を今一度見直し、ターゲットとなる観光客の意識の変化に対応して、海を楽しむリゾート空間の創出や海水浴以外のレジャーイベントを開発するとともに、砂浜の景観を活用したフィルムコミッションや写真撮影などの誘致に取組み、夏場だけでなく通年型の観光を目指していきます。

スポーツ観光の推進

海水浴やマリンレジャーなど夏に偏ったイメージがあることから、サイクリングやマラソンなどを通じ、モデルコースの造成やスタンプラリーなども取り入れ、一年を通じて楽しめるスポーツ観光を推進していきます。

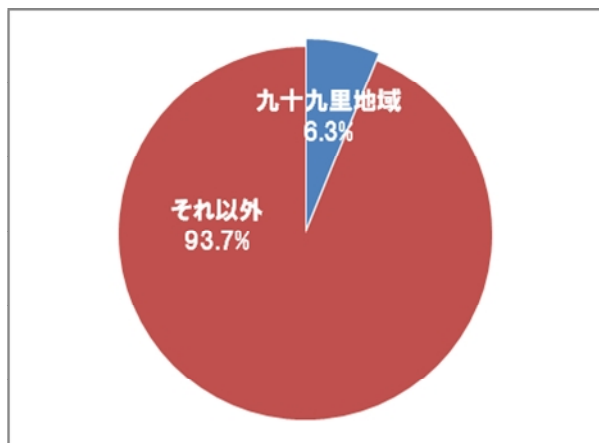
グルメを生かした観光の推進

海産物と農産物を組み合わせたバリエーション豊かなメニューを開発し、飲食店、道の駅等の連携により効果的にPRしていきます。

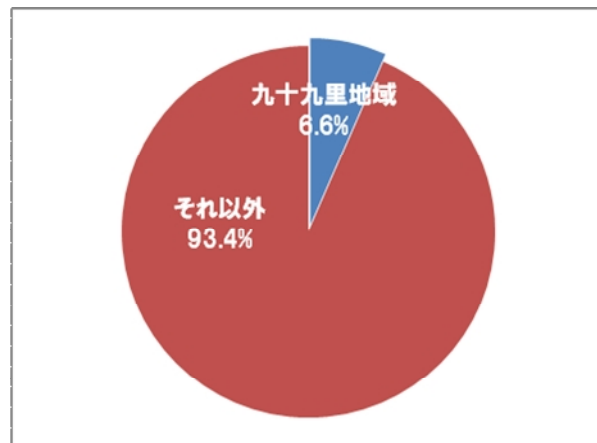
数値から見た九十九里地域

県全体における九十九里地域

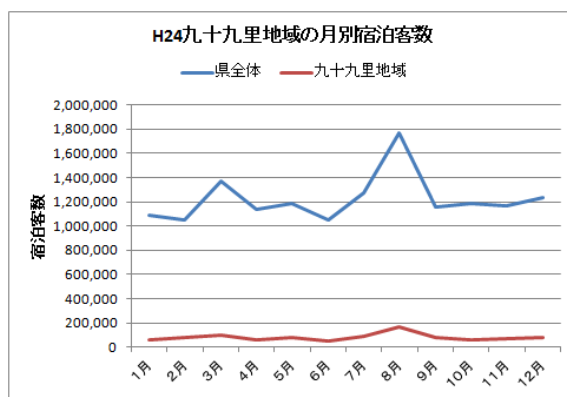
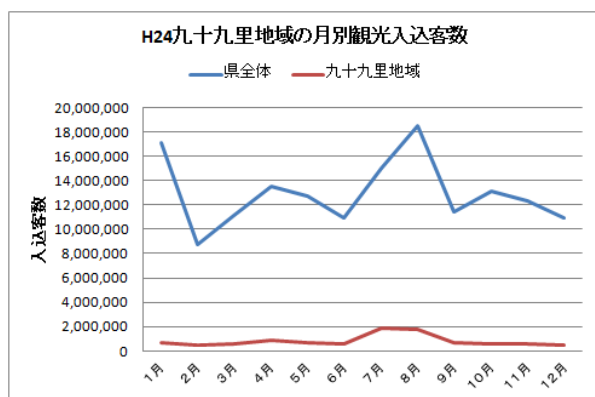
【H24 観光入込客】



【H23 宿泊客】



月別観光入込客数（H24）と月別宿泊客数（H24）



【事例】 白子流ピヤベース（白子町）

白子町商工会では、地域の特産を生かした白子オリジナルの特産料理開発を、白子町の特産品であるトマトと玉ねぎと青魚のつみれをふんだんに使った「白子流ピヤベース」を開発し、町内の飲食店や宿泊施設で提供し、普及を図っています。

現在は、町内の4件の飲食店と18の宿泊施設がラーメン、リゾット、鍋料理など趣向を凝らしたメニューを用意しています。



(5) 南房総地域

房総半島南部の南房総地域は、沖に流れる黒潮(暖流)の影響を受けた温暖な気候から冬でも花々が咲き、豊かな海の幸にも恵まれています。また、表情豊かで変化に富んだ美しい海岸線と緑豊かな丘陵などの自然環境から、夏は海水浴、冬(早春)は花摘み、イチゴ狩りなどを楽しむ多くの観光客で賑わいます。



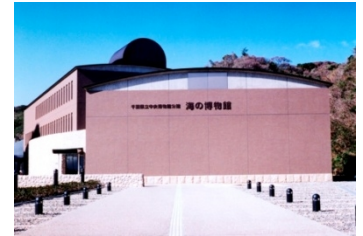
【中央博物館大多喜城分館(大多喜町)】



【枇杷倶楽部(南房総市)】



【白間津の花畑(南房総市)】



【県立中央博物館分館海の博物館(勝浦市)】



【大山千枚田(鴨川市)】

< 観光地点、行祭事・イベント 観光入込上位5 (H24) >

(単位:万人)

観光地点	市町村名	入込客数	行祭事・イベント	市町村名	入込客数
鴨川シーワールド	鴨川市	80	かつらビッグひな祭り	勝浦市	22
露地花摘み(白浜、千倉、和田)	南房総市	59	館山湾花火大会	館山市	15
道の駅 富楽里とみやま	南房総市	51	城山公園花見	館山市	12
道の駅とみうら「枇杷倶楽部」	南房総市	51	大原はだか祭り	いすみ市	5
道の駅「鴨川オーシャンパーク」	鴨川市	43	おんじゅく伊勢えび祭り	御宿町	3

出典:平成24年千葉県観光入込調査

南房総地域の現状と課題

ア 南房総地域における現状

温暖な気候や花、海など千葉県を代表する観光地である南房総地域では、東京湾アクアラインや圏央道、館山道を介して首都圏からのアクセスが向上したことにより、高速バス路線が増加しています。

地域には、ファミリー層に人気の鴨川シーワールドなどの集客力の高い観光施設、観光列車を運行している「いすみ鉄道」や多様・多彩な道の駅が多数あります。また、高級旅館、大型観光ホテルから民宿・ペンションまで、消費者の様々なニーズに対応できる宿泊施設が展開しています。



豊富な海・山の幸に恵まれ「なめろう・さんが焼き」や「勝浦タンタンメン」のような地域独特のグルメを生み出すとともに、「鴨川おらが井」や「大多喜里山膳」「館山炙り海鮮丼」などの新商品も多数開発されています。

南総里見八犬伝の舞台である安房地域や大多喜藩の歴史的な城下町、波の伊八の彫刻、大原のはだか祭りなど郷土芸能・祭り等をはじめとした歴史・文化資源が豊富で、それらを生かしたドラマ誘致などの動きも始まっています。

イ 南房総地域における課題

南房総地域では、企業（工場）の撤退、少子高齢化の進展、定住人口の減少等により地域全体の活力が低下傾向にあることが懸念されています。また、民宿を中心とした小規模宿泊施設や観光ガイド団体では、後継者・人手不足の問題等があります。

高速道路のネットワーク化等により首都圏からのアクセスが向上し、日帰り客が増加する一方で、宿泊客は減少傾向にあります。また、車での観光が中心となっており、観光向け電車の増便や、駅やバス停からの二次交通の不足が課題となっています。

館山道や圏央道東金・木更津間の開通により、高速道路がネットワーク化したものの、車両の増加に伴い県道や市道では渋滞も発生しているため、交通容量の拡大が必要です。また、高速道路の開通効果を当該地域へ広く波及させるアクセス道路の更なる整備推進が課題となっています。

地域の観光ビジョン（将来像）

ア 施策の展開

アクアライン・圏央道、館山道によるアクセス向上を効果的にPRすることで、千葉県を代表する観光地としての知名度・イメージを更に向上させ、南房パラダイスや鴨川シーワールドなどの観光拠点を中心に民間活力を最大限に活用し、地域への更なる誘客に取り組みます。

また、海水浴やサーフィン、花摘み、イチゴ狩りなどの地域の豊富な自然や農林水産物を活用した参加体験型観光を促進するとともに、「食・グルメ」の魅力に磨きをかけることにより、観光客の滞在の長時間化や宿泊型観光の推進を図り、観光渋滞の解消にも取り組んでいきます。

イ 地域の取組

スポーツ観光の推進

海を生かしたサーフィンやダイビング等の個人旅行者に加えて、スポーツ大会や学生のスポーツ合宿など団体客の受入を促進するなど、地域の宿泊施設と連携した取組を図ります。

歴史・文化資源の活用推進

波の伊八や南総里見八犬伝、大多喜城（本多忠勝・忠朝）など地域が連携した資源のストーリー化を進めるとともに、ドラマ・映画（ロケ）などを効果的に活用していきます。

グリーン・ブルーツーリズムの推進

温暖な気候、豊かな自然・農林水産物といったイメージを生かし、都市住民への農山漁村体験や直売所の情報発信を推進していきます。

道の駅を活用したドライブ観光の推進

アクアラインや圏央道東金・木更津間の開通、館山道によるドライブ観光客の増加に対応して、全国有数の多様・多彩な道の駅を観光面でも地域づくり・情報発信の拠点として活用していきます。

海外からの観光誘致の推進

県内他地域に比べると空港からのアクセスがよいとは言えないため、冬場の外国人旅行者や体験型の教育旅行誘致など、目的地としてのテーマ・ターゲットを絞った外国人誘客を図ります。

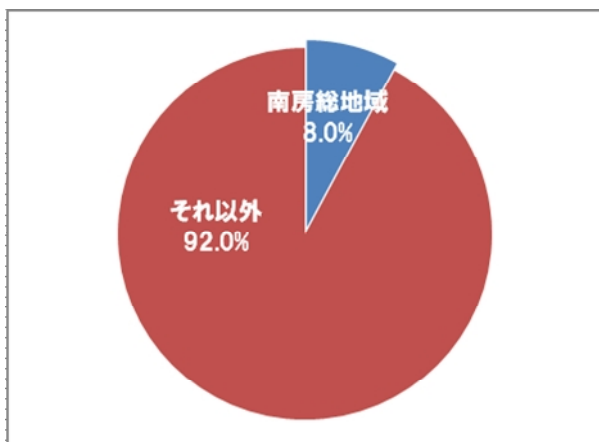
ニューツーリズムの推進

アニメの舞台を活用したコンテンツツーリズム、マリンレジャーをはじめとするスポーツツーリズム、民間病院などの医療資源を活用したメディカルツーリズム、豊かな自然を活用した森林浴セラピーをはじめとするヘルスツーリズムなど、ニューツーリズムの取組をより一層進めていきます。

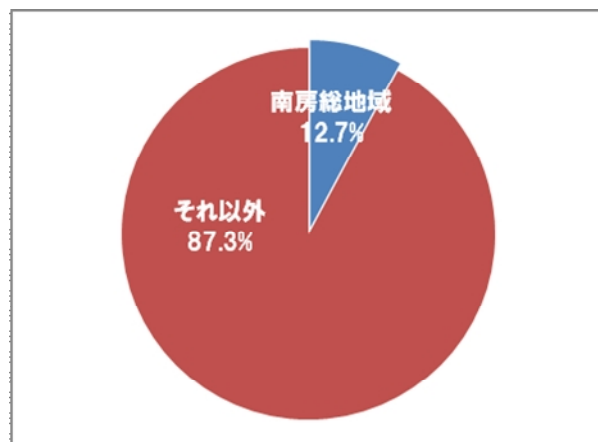
数値から見た南房総地域

県全体における南房総地域

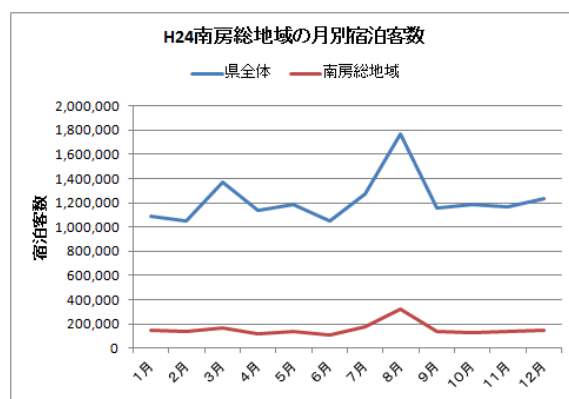
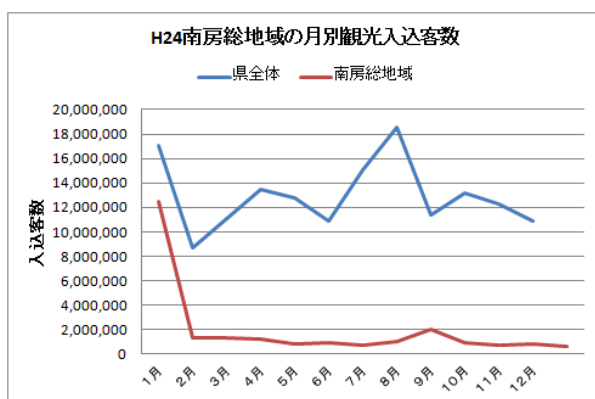
【H24 観光入込客】



【H24 宿泊客】



月別観光入込客数（H24）と月別宿泊客数（H24）



【事例】 勝浦タンタンメン（熱血！！勝浦タンタンメン船団）

古くは、寒い海仕事をを行った海女・漁師などの漁業関係者が冷えた体を温めるためのメニューとして好んで食された勝浦タンタンメンは、今や地域活性化の目玉として、日本全国に知れ渡っています。

平成 24 年 11 月に甲府で開催された関東・東海 B-1 グランプリでは、見事優勝を果たし、平成 25 年 9 月には、関東・甲信越 B-1 グランプリが勝浦市で開催され、多くの観光客が訪れ、食の祭典を盛り上げました。

また、平成 25 年 11 月に愛知県豊川市で開催された B-1 グランプリでは、第 3 位に輝きブロンズグランプリを受賞しました。



(6) かずさ・臨海地域

かずさ・臨海地域では、関東一遅い紅葉と温泉が楽しめる養老溪谷や亀山湖、ファミリー層に人気の観光施設であるマザー牧場、東京ドイツ村、さらに全国有数のゴルフ場など、様々な趣味・年代の人が楽しめる観光スポットが多数あります。



【海ほたる PA (木更津市)】



【鋸山 (富津市)】



【小湊鉄道 (市原市)】



【ホワイトガウラーメン (袖ヶ浦市)】



【亀山湖の紅葉 (君津市)】

< 観光地点、行祭事・イベント 観光入込上位 5 (H24) >

(単位：万人)

観光地点	市町村名	入込客数
海ほたるパーキングエリア	木更津市	884
マザー牧場	富津市	73
東京ドイツ村	袖ヶ浦市	66
JAきみつ味楽園おびつ店	君津市	43
清和県民の森	君津市	37

行祭事・イベント	市町村名	入込客数
木更津まつり	木更津市	31
君津市民ふれあい祭り・亀山湖上祭	君津市	12
上総いちほら国府祭り	市原市	10
かずさアカデミアホール	木更津市	9
富津花火大会	富津市	7

出典：平成 24 年千葉県観光入込調査

かずさ・臨海地域の現状と課題

ア かずさ・臨海地域における現状

東京湾アクアラインと繋がる圏央道東金・木更津間の開通等により都心からの来訪が便利になる一方で、関東一遅い紅葉と温泉が楽しめる養老溪谷や亀山湖、昭和の面影を残す田園鉄道「小湊鉄道」など、昔ながらの風景や豊かな自然が残っています。

東京湾対岸の入口に当たる海ほたるパーキングエリアや木更津市金田地区の三井アウトレットパーク木更津内の千葉県観光情報館「チーバくんプラザ」では、県内の観光情報の発信を行っています。



東京湾に面した沿岸地域では、潮干狩りや簀立て、ご当地グルメ「はかりめ井」、東京湾フェリーなど海をキーワードにした観光振興が図られています。カップル・若者に人気の風光明眉でロマンチックなスポットとして、木更津市の「中の島大橋」や富津市の「石のまち金谷」が恋人の聖地に選定されています。また、市原市ではアートを切り口とした新たな地域活性化の取組が始まっています。

京葉工業地帯に位置しており、工場見学などの産業観光が進められているほか、太陽光や風力を活用した新エネルギーに対する関心が高まる中、大規模メガソーラーの計画・立地が進められており、視察の受入や環境教育の場としても活用されています。

イ かずさ・臨海地域における課題

かずさ・臨海地域は、東京のベッドタウン・工場地帯として発展してきたことから、観光地としての知名度を向上させる必要があります。

車での観光が中心となっており、東京湾アクアライン着岸地周辺においては、交通渋滞が発生していることから対策が必要となっています。

また、観光向け電車の増便や、駅やバス停からの二次交通の不足が課題となっています。

都心から見て後背地に「南房総地域」「九十九里地域」といった知名度の高い観光地を控えており、圏央道東金・木更津間の開通等により交通アクセスが改善される一方で、通過点になってしまうといった懸念があります。

集客力の高い観光施設がある一方で、施設の来訪者が地域を回遊する仕組みづくりが必要となっています。また、経済効果の高い宿泊客を受け入れる施設が全体的に少なくなっています。

かずさ・臨海地域の観光ビジョン（将来像）

ア 施策の展開

地域全体の知名度・イメージを高めるため、市町村・関係事業者等が連携してテーマを設定した広域周遊ルートの提案や集客力のある施設等での効果的なPRなどにより、地域への誘客に取り組みます。

また、都市部に隣接しながら豊富に残る海や丘陵地帯の自然・農林漁業を活用するとともに、県民の森、オートキャンプ場などの施設等と連携して、都心から1時間以内の参加体験型観光の充実を図るとともに、当該地域周辺の渋滞緩和や二次交通の改善にも取り組んでいきます。

イ 地域の取組

海外からの観光誘致の推進

アクアライン・圏央道により成田空港や羽田空港とのアクセスが向上することから、都心より安価・気軽に泊まれる宿泊施設と連携して、外国人宿泊客の取り込みを図っていきます。

スポーツ観光の推進

健康志向、環境志向が高まる中、全国有数のゴルフ場の活用や鋸山などの丘陵地帯でのハイキング、トレイルランなど、気軽に来られる・行えるスポーツ観光を推進していきます。

グリーン・ブルーツーリズムの推進

かずさ・臨海地域に移り住んできた新住民や都心の人々へ、地域の魅力の一つである潮干狩りや簀立、果物狩りや直売所といった農林漁業を活用した海と山の魅力に出会えるグリーン・ブルーツーリズムを推進していきます。また、地元の農林水産物を活用した「はかりめ丼」のようなご当地グルメ・商品開発を促進していきます。

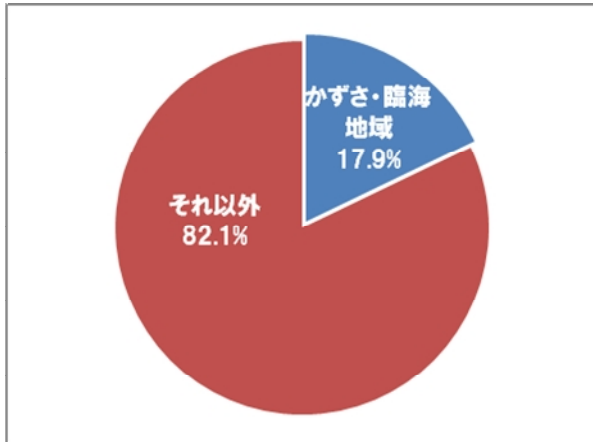
フィルムツーリズムの推進

工場地帯に、田園地帯を走る小湊鉄道や木更津港エリア、久留里の城下町といった多様・多彩なロケ地が豊富にあることを生かして、映画・ドラマ・CMなどのロケの積極的な誘致を図り、地域のイメージアップに取り組んでいきます。

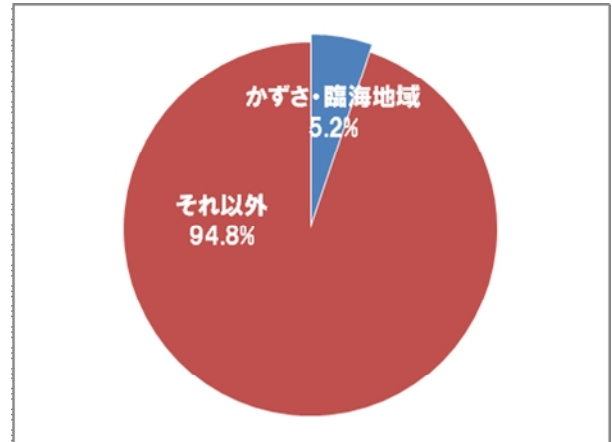
数値から見たかずさ・臨海地域

県全体におけるかずさ・臨海地域

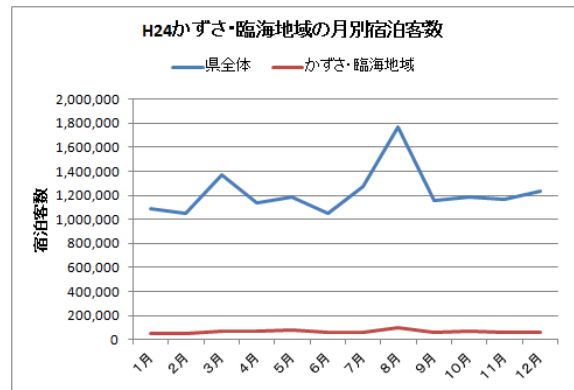
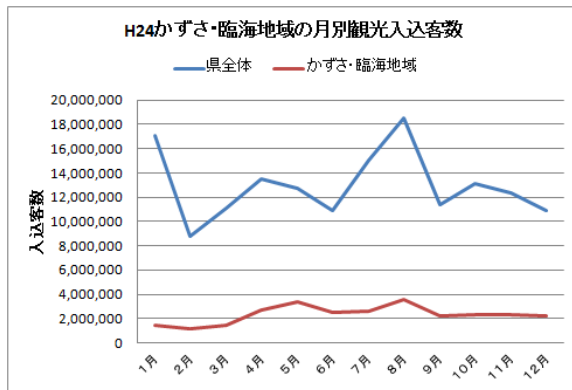
【H24 観光入込客】



【H24 宿泊客】



月別観光入込客数（H24）と月別宿泊客数（H24）



【事例】 石と芸術のまち金谷(富津市)

房総半島の中部に位置する金谷は、江戸時代から明治時代にかけて、鋸山から切り出される房州石の産地として栄えた町で、現在は、その歴史を後世にも残していくため、「金谷美術館」や廃業のホテルを改修した芸術家のための交流アトリエスペース「KANAYABASE」など、石と芸術の町として町の活性化のための取組が進められています。



6つの地域の枠を超えた広域連携の取組

本計画では、これまでの観光資源の集中性、観光分野における地域の関係性を基に、特色ある地域割を考え、県内を6つの地域に分けていますが、こうした地域割を超えて、広域連携の取組が県内各地域において地域主体で進められています。

観光客は、地域区分にとらわれることなく観光地を巡り行動しますので、こうした広域連携の取組は観光振興を進める上では極めて重要なものであり、県としてもこうした地域の取組を促進させていきます。

【主な広域連携の取組事例】

	名称	構成市町村	趣旨等
1	外房観光連盟 (設立:昭和30年4月)	勝浦市、鴨川市、いすみ市、御宿町、大多喜町	外房地域の史跡景勝観光施設並びに観光コースを広く宣伝し、常にサービスの改善と観光資源の整備に努めて外来客の誘致を計り外房の発展に資することを目的とする。
2	九十九里地域観光連盟 (設立:昭和40年3月)	山武市、東金市、芝山町、大網白里市、九十九里町、横芝光町、ほか6観光協会	九十九里地域の風景保護と観光開発を図るとともに、その紹介宣伝を行い観光事業の振興を図る。
3	南房総観光連盟 (設立:昭和44年5月)	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町	安房都市の観光協会、市町相互の連絡調整をはかり、その活動を高め、都市広域行政における観光諸施策の振興に寄与することを目的とする。
4	北総観光連盟 (設立:昭和45年8月)	成田市、佐倉市、香取市、銚子市、東庄町	広域観光産業の興隆発展に寄与することを目的とする。
5	東京湾観光連盟 (設立:昭和47年4月)	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市ほか民間事業者を含む全28団体	君津地域全域をもって組織し、広域観光産業の発展に寄与することを目的とする。
6	南房総観光推進協議会 (設立:昭和58年1月)	マザー牧場、鋸山ロープウェー、鴨川シーワールド、大海フラスターセンター、名勝仁右衛門島、勝浦海中公園センター、花野辺の里、ポピーの里館山ファミリーパーク、東京湾フェリー、東京ドイツ村	南房総への観光客誘致のため、会員が協力して共同宣伝活動を行うことを目的とする。
7	千葉ベイエリア観光連盟 (設立:平成6年6月)	浦安市、市川市、船橋市、習志野市、千葉市、市原市	東京湾に面した市及びその隣接市をもって組織し、加盟市内の観光事業の発展に寄与することを目的とする。
8	長生地域観光連盟 (設立:平成15年5月)	茂原市、一宮町、白子町、長生村、睦沢町、長南町、長柄町	広域的な視野に立ち、観光資源を供用し、既存資源の複合化等による新たな観光プランの開発・提案により、魅力ある観光地づくりを図るとともに地域特性を活かした物産の研究・開発並びに連携を強化し、地域の観光活性化を図ることを目的とする。
9	房総横断鉄道活性化協議会 (設立:平成17年3月)	小湊鉄道線、いすみ鉄道線、市原市、大多喜町、いすみ市	小湊鉄道及びいすみ鉄道並びに沿線の各地方自治体及び地域の関係者が一体となり、両鉄道の活性化方策等について検討・実践を行うことにより、快適で暮らしやすい地域の実現に寄与することを目的とする。
10	水郷三都観光推進協議会 (設立:平成17年8月)	香取市、潮来市、鹿嶋市	各地域の持つ個性を最大限に発揮しながら21世紀型の観光地づくりを目指す。
11	千葉県国際観光推進協議会 (設立:平成18年6月)	千葉県ほか民間事業者を含む全44団体	国際観光の振興を図り、もって国際的な相互理解の増進、県民の国際感覚の涵養及び外国人観光客の一層の誘致を行うことを目的とする。
12	成田空港周辺地域国際観光推進協議会 (設立:平成18年7月)	千葉県、成田市、佐倉市、香取市、栄町、芝山町	成田空港周辺地域を構成する行政が一体となって、外国人観光客の誘致活動を展開するとともに、外国人観光客の受入態勢の整備を促進し、国際観光の振興を図る。
13	茨城・千葉国際観光テーマ地区推進協議会 (設立:平成18年7月)	千葉県、茨城県ほか民間事業者を含む全19団体	平成17年10月に千葉県と茨城県が共同策定した「外客来訪促進計画」に基づき、茨城・千葉国際観光テーマ地区を形成する地域における外国人観光客の誘致を促進することにより、国際観光の振興を図ることを目的とする。
14	中房総観光推進ネットワーク協議会 (設立:平成19年2月)	市原市、いすみ市、茂原市、長柄町、長南町、一宮町、睦沢町、大多喜町、御宿町、勝浦市	圏央道市原南IC利用者が、養老溪谷や勝浦温泉を宿泊拠点とし、中房総を周遊する通年型観光地づくりを目指す。
15	九十九里地域まちおこし連絡協議会 (設立:平成19年7月)	国民宿舎サンライズ九十九里・九十九里ハーブガーデン、蓮沼ガーデンハウスマリノ、九十九里商工会女性部	九十九里浜を活用し地域の活性化を目指し様々な事業を展開することを目的とする。
16	利根川舟運・地域づくり協議会 (設立:平成20年5月)	千葉県、茨城県の利根川流域18市町村	国の「地方の元気再生事業」採択地域。銚子～取手間の利根川舟運を復活し、利根川一帯の活性化を目指す。
17	南房総地域観光圏整備推進協議会 (設立:平成20年7月)	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町、千葉県、民間事業者等(37団体)	平成20年度に観光圏整備法に基づく法定協議会として発足。広域連携による滞在型・着地型観光を促進し、魅力あふれる観光圏を目指す。
18	成田空港活用協議会 (設立:平成25年7月)	千葉県、成田国際空港株式会社、成田市ほか全138団体	30万回化を受けた成田空港の新しい動きを本県経済の活性化につなげることを目指した「グレード・アップ『ナリタ』活用戦略会議」の提言を実現するため、成田空港を成長させるための諸事業を実施することにより、本県経済の活性化に寄与することを目的とする。

7 豊かな観光資源である四季の移ろいを生かした観光振興(四季編)

三方を海に囲まれ、温暖な気候に恵まれている本県では、春には花見や東京湾沿岸での潮干狩り、夏には九十九里浜をはじめとした砂浜での海水浴やビーチスポーツ、テニス合宿、秋には養老渓谷などでの紅葉狩りや各地域の趣のある祭り、冬にはイチゴ狩りやイルミネーション、南房総の早春の花摘みなど、四季折々の様々な観光を楽しむことができます。

(1) 千葉県の四季の特色

春「花と陽光に包まれた癒しの空間」

サクラにチューリップ、フジ、レンゲ、バラ、ツツジにアヤメなど、温かな陽光に包まれ、千葉県がまるごと花畑と思わせるほどに花々が咲き誇り、訪れる方に癒しを与えてくれます。

夏「海とスポーツが醸し出す夏の熱気」

海水浴やビーチスポーツ、マリンスポーツなどの海のレジャーはもちろん、自然を満喫できるキャンプからスポーツ合宿まで楽しめ、空に打ち上がる花火や伝統的な夏祭りなどが彩りを添えます。

秋「錦秋の景色と地域の息吹を伝えるお祭り」

関東一遅い色鮮やかな紅葉や癒しの天然温泉、魚介に野菜、果物の旬の味覚が味わえ、各地で趣のある伝統の秋祭りが千葉県内の地域の息吹を伝えます。

冬「一足早い春を感じる花摘みと大地の恵み」

冬でも温暖な千葉県は、たくさんの花々が咲き誇るお花畑での花摘みや完熟のイチゴなどのおいしい味覚などが楽しめ、首都圏の中でも一足早く春を感じることができます。

(2) 四季を生かした様々な取組

今後の展望

本県の強みの追求と徹底したPR

- ・ 近隣都県に先んじて楽しめる早春の花々や九十九里浜をはじめ県内に68箇所(平成25年)もある豊富な海水浴場、バリエーションに富む温泉など、本県の優位性を最大限に活用して、季節やテーマに応じてその強みを追求し、徹底的に売り込んでいきます。

農産物・水産物の商品開発・ブランド化

- ・四季を通じた大地や海の恵みと地域の歴史や特色とを織り交ぜ、新たな商品開発やブランド化に取組み、県内の道の駅を広域的にネットワーク化して販売・PRの強化に取組みます。
- ・また、知事のトップセールスをはじめ、千葉の魅力発信を強化し、千葉の一番の「旬」を国内外にプロモーションしていきます。

今後の取組

千葉の一番の「旬」を見て、体感して、味わうことができる県内周遊観光の取組を推進していきます。

）春・・・切れ目のない季節の花々が結ぶ県内周遊

鋸南のスイセン、南房総各地の菜の花、県内各地のサクラ、佐倉、柏のチューリップ、松戸、茂原、いすみのアジサイ、香取、我孫子のアヤメというように、早春から春にかけての季節には彩り豊かな花々が県内に咲きます。

今後は、県内各産地が広域に連携し、それぞれ花々の「旬」の時期を巡る「千葉の花巡り」ルートの開発や環境づくりを進めていきます。

）夏・・・千葉県丸ごとレジャーランド

九十九里浜、富津岬、南房総などでのシュノーケリング、ダイビング、サーフィン、ウィンドサーフィン、シーカヤックや、利根川などでのカヌー、ジェットスキーや、ハイキング、サイクリング、トレイルランや親子での虫取りなど、県内各地で山・海・川のレジャーが楽しめます。

今後は、「千葉県丸ごとレジャーランド」を実現するため、県内各地が広域で連携し、誰もが手軽、気軽に、体験できる環境づくりを進めていきます。

）秋・・・いつでも、どこでも収穫体験

秋は「収穫の秋」と言われるように、千葉県内では、米、落花生、サツマイモ、梨、ぶどうなど様々な収穫体験ができます。

自らが種を蒔いた作物の「旬」を自らが収穫し、味わう「いつでも、どこでも収穫体験」ができる周遊観光ルートの開発や環境づくりを進めていきます。

）冬・・・温泉通は知っている千葉の湯めぐり ～秘湯から近所の湯まで～

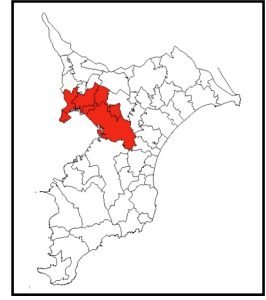
寒い冬には温かい湯に浸かりたくなります。千葉の温泉は海を望む絶景の風呂、山間の知る人ぞ知る秘湯から都市型の日帰りの入浴施設や銭湯など数もバリエーションも豊富です。

温泉好きから温泉通へ。「温泉くらべ」ができる周遊ルートの開発や環境づくりを進めていきます。

(3) 地域ごとの四季の移ろい

ベイエリア地域

通年型の観光施設や商業施設が多く、幕張メッセのイベントなどをはじめ、一年を通じて県内外から多くの人を訪れる地域ですが、春には京成バラ園や谷津バラ園でのバラ、三番瀬海浜公園での潮干狩り、夏には幕張をはじめ各地での花火大会や夏から秋にかけての梨狩り、秋には国内唯一の国際千葉駅伝、冬には市街地を彩るイルミネーションなど、四季を感じさせる風景も覗くことができます。

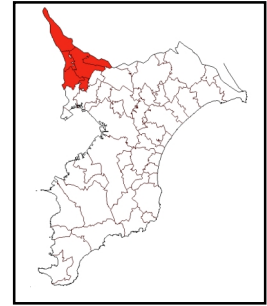


春 (3~5月)		ベイエリア地域の四季		夏 (6~8月)	
食・特産品 ・イチゴ ・春夏にんじん	祭り・イベント ・千葉城桜まつり ・里見公園桜まつり ・アンデルセン公園さくらまつり ・中央公園フラワーフェスティバル ・鯉のぼり遊泳 ・ハミングさくらまつり	食・特産品 ・梨 ・春夏にんじん ・スズキ	祭り・イベント ・花火大会 ・千葉の親子三代まつり ・船橋ばか面おどり ・安産子育て大祭 ・妙見大祭 ・浦安三社祭 ・習志野きらっと		
アクティビティ・自然 ・バラ ・伏姫桜 ・イチゴ狩り ・潮干狩り	通年型観光 【食・特産品】 ・佃煮 ・焼蛤 ・梨スイーツ ・八千めし ・船橋ソースラーメン 【アクティビティ・自然】 ・ショッピング ・プロスポーツ観戦 ・千葉港遊覧船 ・釣り・ウィンドサーフィン ・ふなばし朝市 ・行徳野鳥観察舎 ・三番瀬・谷津干潟 ・釣り船・浦安マリーナ ・エクセル航空 【施設】 ・東京ディズニーリゾート ・幕張メッセ・MOP幕張 ・バサール幕張・道の駅やちよ ・ららぽーと・IKEA・サッポロビール園 ・アイ・リンクタウン展望施設 ・中山法華経寺・船橋大神宮 ・京成バラ園・谷津バラ園 ・ふなばしアンデルセン公園・船橋泉民の森 ・千葉市動物公園・市川市動物公園 ・見浜園・東山魁夷記念館 ・千葉ポートタワー・郷土博物館 ・加曽利貝塚・玉川旅館 ・QVCマリンフィールド・屋形船 ・フクダ電子アリーナ・浦安魚市場 ・国際総合水泳場・県立美術館 ・現代産業科学館・中央博物館	アクティビティ・自然 ・バラ ・梨狩り ・ブルーベリー狩り ・ぶどう狩り ・ホテル観賞			
アクティビティ・自然 ・千葉マリンマラソン ・イチゴ狩り ・野鳥観察	食・特産品 ・三番瀬海苔 ・船橋ブランド小松菜 ・イチゴ	祭り・イベント ・イルミネーション ・初詣 ・クリスマスファンタジー ・灯明台祭り ・和良比はだか祭り	食・特産品 ・落花生	祭り・イベント ・のみの市 ・ちばYOSAKOI ・行徳五ヶ町秋の大祭 ・船橋大神宮のけんか相撲	
冬 (12~2月)	秋 (9~11月)				



東葛飾地域

ベイエリア地域同様、通年型の観光施設や商業施設が多く、一年を通じて県内外から多くの人々が訪れる地域ですが、春には柏のチューリップフェスティバルや江戸川堤の菜の花、夏には本土寺のあじさいや我孫子のあじさい祭り、夏から秋にかけての梨狩り、秋から冬には手賀沼のジャパンバードフェスティバルをはじめとするバードウォッチングなど、四季を感じさせる風景も覗くことができます。

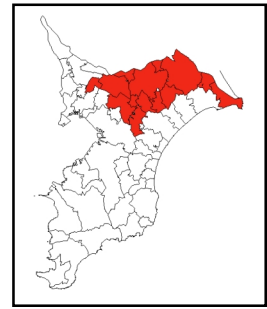


春 (3~5月)		東葛飾地域の四季		夏 (6~8月)	
食・特産品 <ul style="list-style-type: none"> イチゴ 大根 カブ 根芋 	祭り・イベント <ul style="list-style-type: none"> 桜まつり つつじまつり 鯉のぼり レング祭り チューリップフェスティバル 関宿城まつり 	食・特産品 <ul style="list-style-type: none"> すいか 梨 ぶどう えだまめ ブルーベリー 	祭り・イベント <ul style="list-style-type: none"> 花火大会 あじさい祭り あやめ祭り ほおずき市 柏まつり あびこカップまつり 		
アクティビティ・自然 <ul style="list-style-type: none"> 江戸川堤の菜の花 花見(桜・白梅) イチゴ狩り バラ カタクリ 	通年型観光 <p>【食べ物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本酒・焼酎・せんべい 醤油・純米酢・黒酢 ピーナツサブレ・ラーメン 本みりん・白みりん・ウイスキー 梨ワイン・梨ブランデーケーキ 海苔・白樺派カレー ホワイトぎょうざ・学食・漬物 あさり・しじみ佃煮 <p>【アクティビティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> サイクリング・ゴルフ 歴史探訪・自然散策 手賀沼遊覧・ボート カヌー・アスレチック <p>【施設・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柏レイソル・ファイターズタウン もの知りしょうゆ館・関宿城博物館 本土寺・戸定邸・布施弁天・キッサニア 道の駅しょうなん・流鉄流山線 矢切の渡し・新撰組陣屋跡 白樺派文人邸跡・あけぼの山農業公園 清水公園・つくばエクスプレス 鳥の博物館・吉田家住宅歴史公園 万華鏡ギャラリー・寺田園茶舗見世蔵 一茶双樹記念館・鎌ヶ谷大仏 高梨本家上花輪歴史館・茂木本家美術館 工場見学・松戸競輪場・21世紀の森と広場 かしわで・手賀沼フィッシングセンター 関宿城博物館 	アクティビティ・自然 <ul style="list-style-type: none"> 梨狩り ブルーベリー狩り ブドウ狩り 桃狩り 手賀沼のハス 手賀沼トリアスロン 			
アクティビティ・自然 <ul style="list-style-type: none"> 花見(紅梅) バードウォッチング 	食・特産品 <ul style="list-style-type: none"> 矢切ねぎ あじさいねぎ 大根 イチゴ カブ こかぶ ホウレンソウ 	祭り・イベント <ul style="list-style-type: none"> イルミネーション 	食・特産品 <ul style="list-style-type: none"> 落花生 さつま芋 ぶどう カブ 	祭り・イベント <ul style="list-style-type: none"> 紅葉狩り 果物狩り アートラインかしわ 湖北台サンバ ジャパンバードフェスティバル 各市市民まつり 	
冬 (12~2月)				秋 (9~11月)	



北総地域

春には佐倉のチューリップフェスタや佐原のあやめ祭りなど色とりどりの花、夏には富里スイカロードレースや夏から秋にかけてのイルカ・クジラウォッチング、秋には銚子のさんま祭りや香取のふるさといも祭りなどの収穫祭、冬には銚子をはじめとした初日の出や成田山新勝寺をはじめとする初詣や冬から春にかけてのイチゴ狩りなど、四季折々の風景を感じることができます。



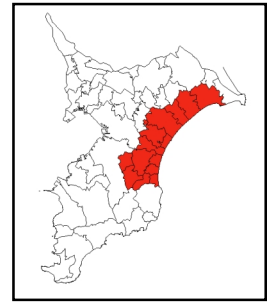
北総地域の四季

春 (3~5月)	通年型観光	夏 (6~8月)
食・特産品 ・イチゴ ・灯台キャベツ ・お茶・大根 ・カレイ・マダイ ・生マグロ・ヤリイカ ・カツオ	【食・特産品】 ・銚子つりきんめ・せんべい ・羊羹・醤油・ごま油・味噌 ・豚肉製品・魚めん・干物 ・みそピー・大和芋・茶 ・海藻こんにゃく・魚練り物 ・木の葉パン・サバカレー缶 ・成田ソラあんぱん・蔵六餅 ・マッシュルーム 【施設等】 ・成田国際空港・成田山新勝寺 ・香取神宮・宗吾霊堂・神崎神社 ・満願寺・道の駅、空の駅 ・ウォッセ21・刑部岬 ・房総のむら・武家屋敷 ・銚子電鉄・犬吠埼灯台 ・犬吠埼マリナーパーク・銚子ポートタワー ・国立歴史民俗博物館・成田ゆめ牧場 ・芝山仁王尊・航空科学博物館 ・水郷佐原水生植物園 ・伊能忠敬記念館・岩屋古墳 ・印旛沼公園・本佐倉城址 ・しずい・ハーブガーデン ・酒々井ちびっこ天国 ・酒々井プレミアムアウトレット ・中央博物館大根分館 ・東庄泉民の森	祭り・イベント ・佐原の大祭(夏祭り) ・花火大会 ・スイカロードレース ・きんめだい祭り ・成田祇園祭 ・成田太鼓祭
祭り・イベント ・桜祭り ・酒蔵祭り ・佐倉チューリップフェスタ ・水郷佐原あやめ祭り		祭り・イベント ・佐原の大祭(夏祭り) ・花火大会 ・スイカロードレース ・きんめだい祭り ・成田祇園祭 ・成田太鼓祭
アクティビティ・自然 ・イチゴ狩り ・花見(桜・梅) ・カー ・サンダーソニア ・すかしユリ		アクティビティ・自然 ・梨狩り ・クジラウォッチング・海水浴 ・あやめ・向日葵 ・バラ・あじさい
アクティビティ・自然 ・初日の出 ・金魚草・カー ・すかしユリ		アクティビティ・自然 ・紅葉 ・クジラウォッチング ・バラ
食・特産品 ・日本酒・金目鯛 ・人参・里芋・大根 ・アンコウ・カジキ ・ブリ・ヒラメ	食・特産品 ・落花生・さつま芋 ・黒豆・ぶどう・里芋 ・サンマ・マダイ ・お茶・いちじく	祭り・イベント ・佐原の大祭(秋祭り) ・佐倉の秋祭り ・果物狩り ・さんま祭り・祇園祭り ・ふるさといも祭り・はにわ祭 ・生まぐろ祭り
冬 (12~2月)		秋 (9~11月)



九十九里地域

春には茂原牡丹園などの花々や白子たまねぎ祭り、夏には九十九里浜での海水浴や地引網体験、秋には上総国一宮まつりをはじめとする様々なお祭り、冬から春にかけてのイチゴ狩りなど、四季折々の風景を感じることができます。



九十九里地域の四季

春 (3~5月)

食・特産品

- ・白子たまねぎ
- ・ズッキーニ
- ・イチゴ
- ・たけのこ
- ・夏みかんビール

祭り・イベント

- ・桜まつり
- ・チューリップ祭り
- ・白子たまねぎ祭り
- ・白子温泉祭り
- ・つつし祭り
- ・上総国さすがり

アクティビティ・自然

- ・鮭の放流
- ・イチゴ狩り
- ・白子たまねぎ狩り
- ・ハマビルガオ群生地
- ・茂原牡丹園
- ・桜

アクティビティ・自然

- ・イチゴ狩り

食・特産品

- ・イチゴ
- ・アンコウ料理
- ・ながいきねぎ 青海苔
- ・初夢漬 大浦ごぼう
- ・とがらしごぼう
- ・鴨料理 千両

冬 (12~2月)

通年型観光

【食・特産品】

- ・胡麻漬、みりん干し、太巻き寿司
- ・山武杉、白子流ブイヤベース
- ・ゆず羊羹、房総サイダー
- ・九十九里地はまぐり、煮干し
- ・金山時みそ、イワシ丼
- ・もばらめん、落花煎餅
- ・米粉類、なごら味噌、長生トマト
- ・古代米、ウコン、竹炭、酒
- ・豚肉、とがらしみそ、梨あめ
- ・朝方塩(あつものしあ)、もつ料理

【施設】

- ・道の駅、酒蔵見学、九十九里浜、刑部岬展望館、ハーブガーデン
- ・飯高壇林跡、サンライズ九十九里、笠森観音、玉前神社、長福寿寺
- ・成東、東金食虫植物群落、白子温泉、熊野の清水、大原幽学遺跡史跡公園
- ・プラネタリアム、六斎市、史跡長柄橋穴群、長熊釣堀センター
- ・レイクラスカ、テフひめはの里、天然コード温泉
- ・芥川龍之介ゆかりの地「愛の碑」芥川荘

【アクティビティ】

- ・スポーツ合宿
- ・ゴルフ、グランドゴルフ
- ・サイクリング、サーフィン
- ・ガラス工芸体験、ボディボード
- ・パークゴルフ
- ・ルディックウォーク
- ・ターザニア、テニス村
- ・農業体験、しいたけ狩り
- ・乗馬、バードウォッチング

夏 (6~8月)

祭り・イベント

- ・海水浴、花火大会、海開き
- ・茂原七夕まつり
- ・八重垣神社祇園祭
- ・浜マラソンin九十九里
- ・あさひ砂の彫刻美術展
- ・鬼来迎、一宮川燈籠流し
- ・テニスイベント、紅花まつり
- ・南白亀川イカダのぼり大会
- ・YASSA フェスティバル
- ・山武市サマーカーニバル

アクティビティ・自然

- ・地引き網体験、ブルーベリー狩り
- ・ぶどう狩り、あじさい屋敷
- ・蓮沼ウォーターガーデン
- ・花ハス、花菖蒲、紅花
- ・昆虫ドーム、キャンプ場

アクティビティ・自然

- ・イチジク狩り
- ・コスモス

祭り・イベント

- ・上総国一宮まつり
- ・九十九里浜エコウォーキング
- ・フェスタ
- ・妙楽寺観月の夕べコンサート
- ・エコフェスタ
- ・上総十二社祭
- ・上総国さすがり
- ・湖畔の観月会
- ・EGフープバトル世界選手権

秋 (9~11月)

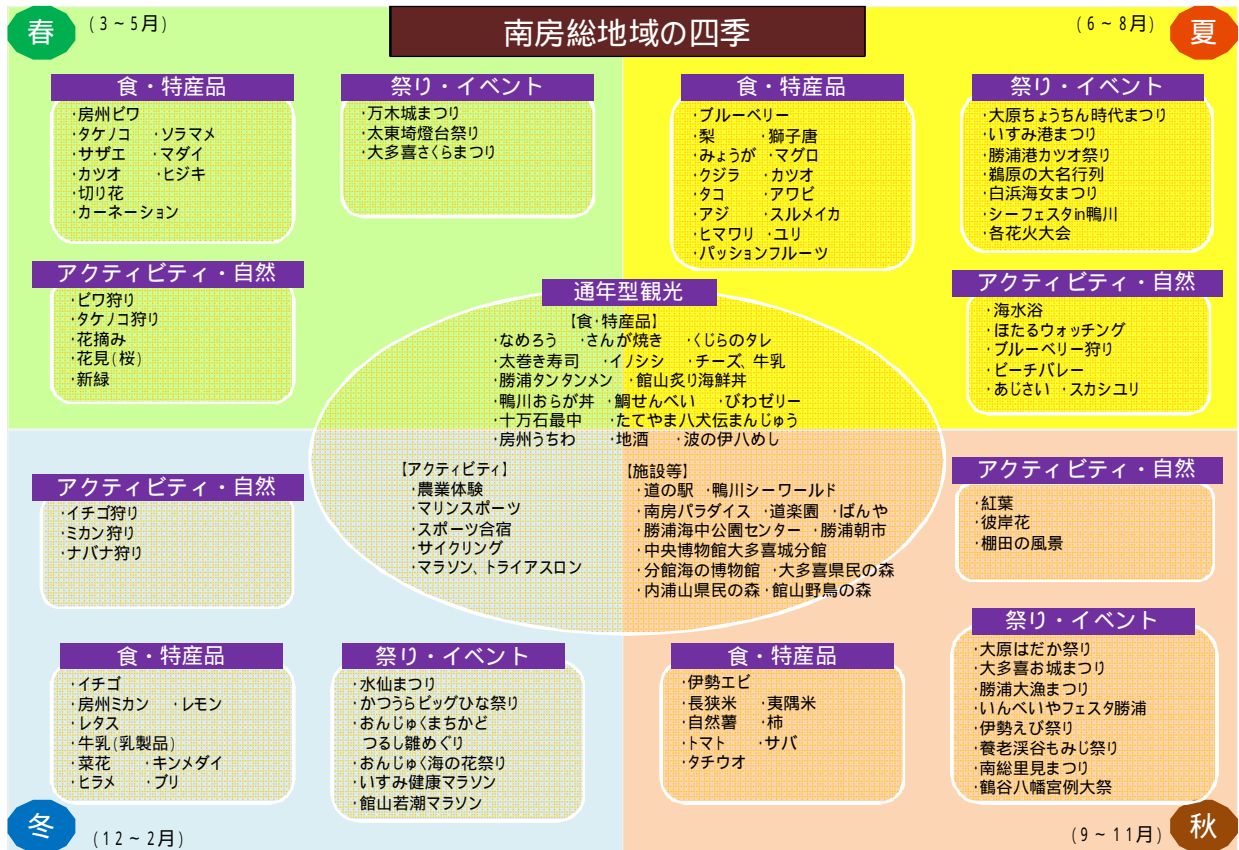
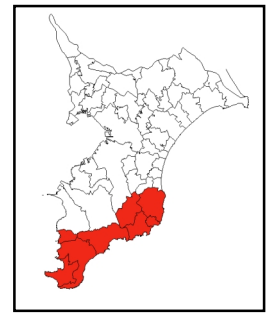
食・特産品

- ・マイワシ
- ・イチジク
- ・枝豆
- ・れんこん
- ・自然薯
- ・ながいき梨



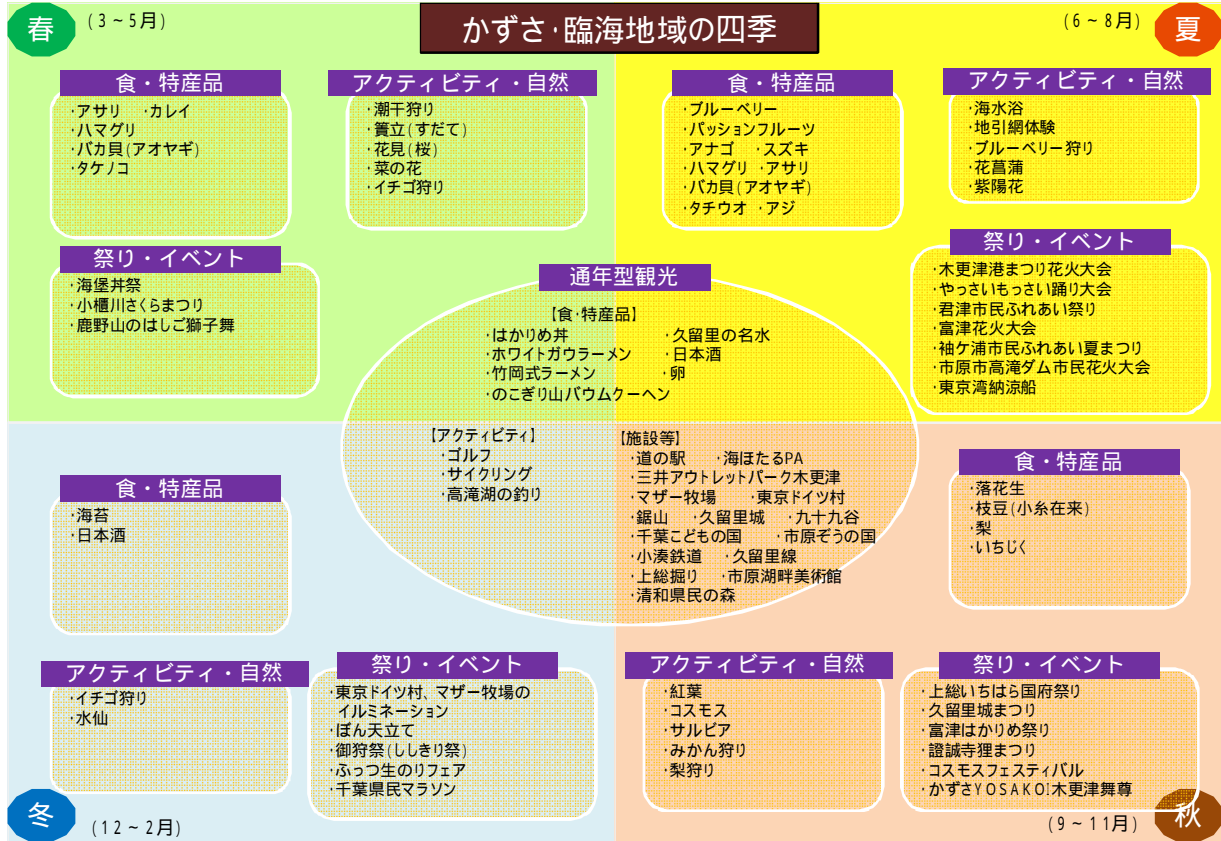
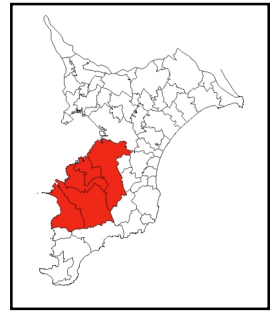
南房総地域

春にはピワ狩りやタケノコ狩り、夏には海水浴やビーチスポーツ・マリンスポーツ、秋には養老溪谷の紅葉や大原はだか祭りをはじめとする様々なお祭り、冬から春にかけてのイチゴ狩りや早春の花摘みなど、四季折々の風景を感じることができます。



かずさ・臨海地域

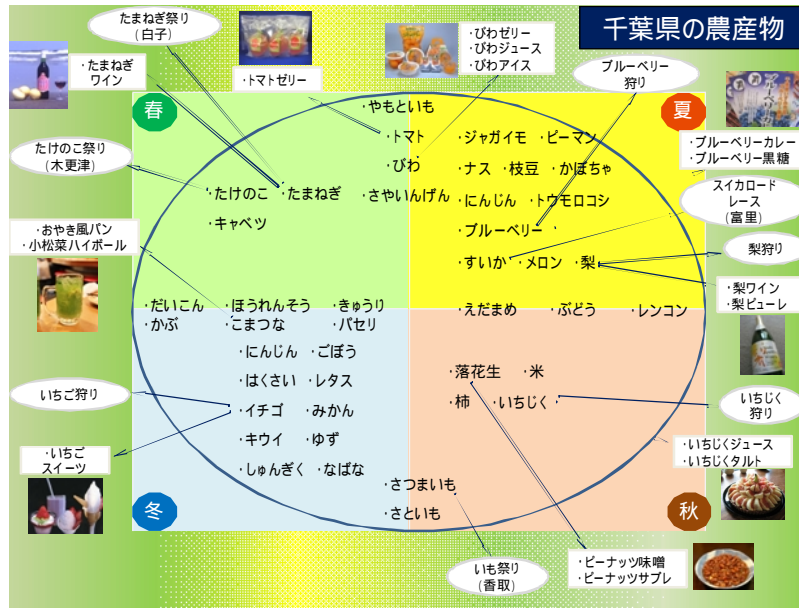
春には東京湾での潮干狩りや簀立(すだて)の風景、夏にはブルーベリー狩りや東京湾の納涼船、秋には養老渓谷や亀山湖などでの関東一遅い紅葉、冬には東京ドイツ村やマザー牧場のイルミネーションなど、四季折々の様々な風景を感じることができます。



(4) 千葉県の農産物・花・水産物と四季

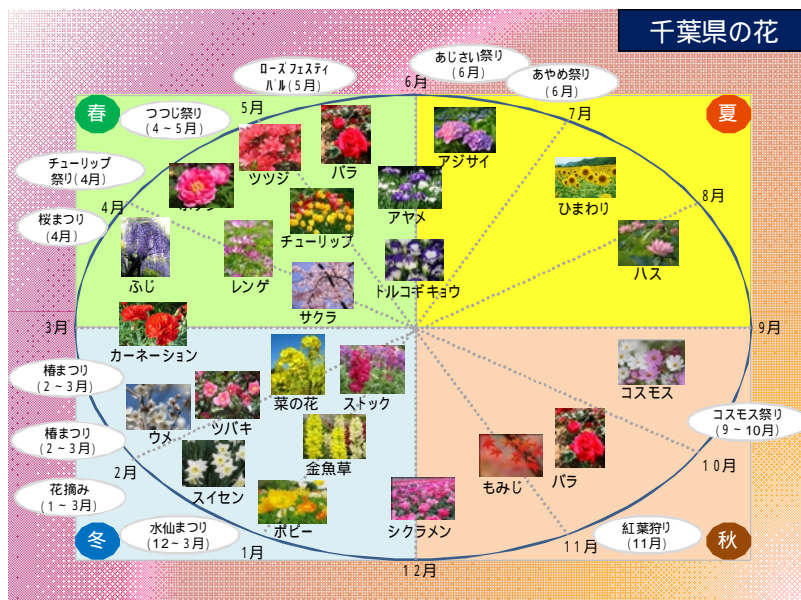
千葉県の農産物と四季

- ・全国屈指の農業産出額を誇る本県は、農業県として、春にはたけのこ、たまねぎ、キャベツなど、夏にはすいか、梨、メロンなど、秋には落花生、サツマイモ、いちじくなど、冬にはイチゴ、にんじん、小松菜など、四季折々の多種多様な農産が県内各地で栽培され、豊かな実りを私たちに与えてくれています。
- ・また、びわゼリー、ピーナッツサブレ、梨ワインなど農産物を加工した土産物品・グルメの開発や、梨狩り、イチゴ狩りなど観光農園での収穫体験なども行われています。



千葉県の花と四季

- ・温暖な気候に恵まれる本県では、春にはサクラやチューリップにアヤメ、夏にはアジサイやひまわり、秋にはコスモスやもみじ、冬には菜の花やスイセン、梅、ツバキなど、様々な花々を楽しむことができます。
- ・特に、近隣都県に先んじて春を感じる事ができる南房総の早春の花摘みには県内外から多くの観光客が訪れています。



千葉県の水産物と四季

- ・千葉県は、三方を海に囲まれ海岸線は変化に富み、来遊する魚群や沿岸に生息する生物の種類豊富な等、多様な海の資源に恵まれています。
- ・春にはマダイ、カツオ、アサリなど、夏にはアワビ、マイワシ、スズキなど、秋にはサンマ、サバ、イセエビなど、冬にはヒラメ、ブリ、キンメダイなど、四季を通じて、私たちに海の恵みを与えています。また、ごま漬け、クジラのたれ、サバカレーなどの水産加工品や、なめろう、さんが焼き、はかりめ井などの水産品を用いた郷土料理の開発も進んでいます。
- ・数多くの県産水産物の中でも、県を代表し、全国に誇りうるものを「千葉ブランド水産物」として県が認定し、全国に向けて紹介しています。



8 観光戦略を推進するためのシステム・体制づくり

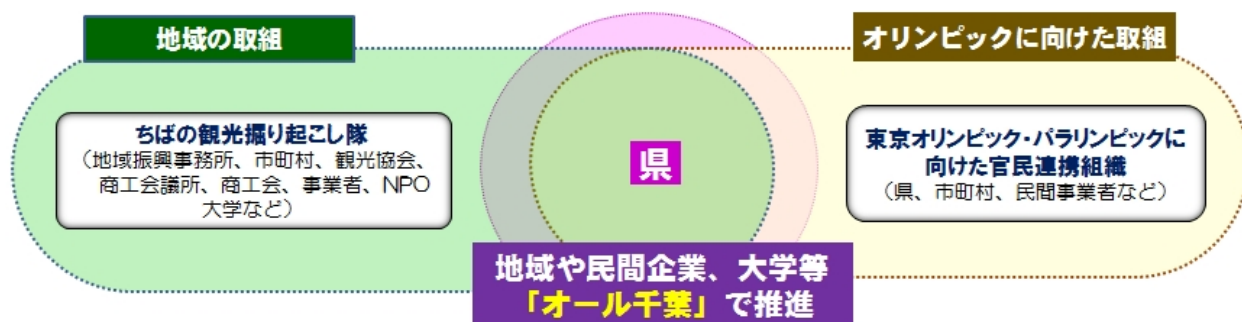
観光立県千葉の実現に向け、オール千葉県での取組をより確固としたものとするためには、観光事業者はもとより、幅広い産業分野の事業者、農林水産関係団体、NPO、教育機関、行政、そして地域住民などの多様な主体が、県内各地域で分野を越えて連携の輪を広げることが必要です。

本計画についても、計画策定後にどのようにして「千葉県観光が目指すべき姿」を実現していくかということが極めて重要となります。

このため、県内を6つのブロックに分け、市町村、観光協会、商工会議所・商工会、民間事業者、NPO、地域振興事務所から構成される「ちばの観光掘り起こし隊」が主体となり、地域内の大学とも連携しながら、各地域の観光資源の掘り起こし、磨き上げを通じ、本計画の地域編に示した施策の展開・地域の取組に基づき、毎年度、地域としての行動計画や役割分担などを議論し、観光による地域づくりを進めていきます。

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けても、県、市町村、民間事業者等が一体となって、受入体制の整備や魅力ある観光地づくりを進めていくとともに、国の施策も活用しながら、国内外からの観光客の誘客にも取り組んでいきます。

このように、県が中心となり、地域や民間企業、大学等「オール千葉」の体制で観光振興を図っていくため、本計画のエンジンとして、観光振興に関する施策を総合的、機動的に実施するための庁内横断的な組織である「観光立県千葉推進本部」が主体となり、本計画の進行管理を行い、適宜、計画や施策の見直しを行っていきます。



さらに、各地域には、官民が一体となって観光プロモーションを行う「ちばプロモーション協議会」の地域部会も組織されており、「ちばの観光掘り起こし隊」と連携して、磨き上げられた地域の観光資源を活用した旅行商品の造成や観光プロモーション活動を行っていきます。

参考資料1 千葉県内の道の駅



	名称	隣接する道路	所在地
1	とみうら	国道 127 号	千葉県南房総市富浦町青木 123-1
2	三芳村	(主)富津館山線	千葉県南房総市川田 82-2
3	やちよ	国道 16 号	千葉県八千代市米本 4905-1
4	きよなん	国道 127 号	千葉県安房郡鋸南町吉浜 516-1
5	鴨川オーシャンパーク	国道 128 号	千葉県鴨川市江見太夫崎 22
6	ローズマリー公園	(県)和田丸山線	千葉県南房総市白子 1501
7	ふれあいパーク・きみつ	千葉鴨川線	千葉県君津市笹字椿 1766-3
8	しょうなん	(主)船橋我孫子線	千葉県柏市箕輪新田 59-2
9	たけゆらの里おおたき	国道 297 号	千葉県夷隅郡大多喜町石神 855
10	多古	国道 296 号	千葉県香取郡多古町多古 1069-1
11	あずの里いちはら	市道 13 号線	千葉県市原市浅井小向 492-1
12	くりもと	(県)成田小見川鹿島港線	千葉県香取市沢 1372-1
13	ちくら・潮風王国	国道 410 号	千葉県南房総市千倉町千田 1051
14	富楽里とみやま	(県)外野勝山線	千葉県南房総市二部 1900
15	おおつの里	(県)犬掛館山線	千葉県南房総市富浦町大津 320
16	オライはすぬま	(主)松尾蓮沼線	千葉県山武郡蓮沼村八 4826
17	ながら	(主)千葉茂原線	千葉県長生郡長柄町六地藏 138-1
18	つどいの郷むつざわ	(主)大多喜一宮線	千葉県長生郡睦沢町上之郷 2048-1
19	白浜野島崎	国道 410 号	千葉県南房総市白浜町滝口 9240
20	南房パラダイス	(県)南安房公園線	千葉県館山市藤原字平砂浦 1495 番地
21	水の郷さわら	国道 356 号	千葉県香取市佐原イ 3981-2
22	風和里しばやま	(主)成田松尾線	千葉県山武郡芝山町小池 2568
23	和田浦 WA・O!	国道 128 号	千葉県南房総市和田町仁我浦 243

参考資料2 2013年市場別訪日外客数目標及びプロモーション重点方針(観光庁)

市場	2012年実績	2013年実績	2013年 プロモーション重点方針
合計	837	1000	個人旅行の促進、送客元の多様化により外的要因の影響を受けにくい訪日外客構造を構築する。旅行会社、在外公館、日経企業等との連携を強化する。訪日ブランドの確立と発信を強化する。
韓国	204	250	20～30代の有職独身女性向けに、気軽な大都市への週末旅行、大都市から日帰り・1泊で行ける地方を訴求し、初訪日及びリピーターの双方の増加を図る。40～50代の夫婦層及び子供連れ家族層向けには、日本ならではの質の高いサービスや文化体験をPRし、早期回復を目指す。日韓地方観光交流計画に基づき、地方の祭りや温泉等のPRを強化する。
中国	143	115	30～40代女性を中心とする団体観光について、上海等の最重点エリアに加え、成都、重慶等でも公告や旅行博出展等による認知度向上と販売促進を図る。80年代生まれの女性を中心とする個人観光客の更なる拡大を図るため、記事広告やウェブにより、日本ならではの質の高いサービス、温泉等をPRする。
香港	48	70	30～40代女性(カップル・家族旅行)のFITリピーター、20代男女(カップル・友達同士)のFIT旅行社に対し、「ドライブ旅行」「鉄道旅行」をテーマにしたテレビ番組放映を核として、自由な旅行でしか楽しむ事ができない食、旅館、体験プログラムなどの日本ならではの魅力をPRする。
台湾	147	205	20～30代の独身・子供のいない夫婦によるFIT、40代男女の団体観光について、オープンスカイによる新規就航や増便のある地域をPRすることにより、リピーターの増加と旅行目的地の多様化を図る。映像や記事公告などにより認知度向上、興味関心の喚起を図り、旅行博や共同公告を通じて購買につなげる。
タイ	26	40	バンコク首都圏の家族層に対し、食事、温泉、四季の体感をPRし、旅行商品を造成すると共に、公告や記事掲載による訪日意欲の喚起、旅行博出展等を通じて、商品の販売促進を図る。また、FITリピーター向けには、新規の旅行商品を造成し、訪問先の多様化を図る。
シンガポール	14	18	放射能への懸念が比較的軽微な中国語生活圏の中間層の家族層に低廉・高品質な体験型ツアーを中心にPRし、早期回復を目指す。また、20～30代の有職独身女性向けに、オンライン旅行会社等と連動し、気軽な大都市への週末旅行、大都市から日帰り・1泊で行ける地方を訴求し、発訪日及びリピーターの双方の増加を図る。
マレーシア	13	17	クアラルンプール首都圏の中華系家族層に加えて、ペナン、コタキナバル中華系家族層、ムスリム家族層に対し、四季の体感、テーマパーク等をPRし、旅行商品造成、共同公告や旅行博出展による販売促進を図る。LCCと連動した記事公告やキャンペーンにより、若年層・リピーターの増加を目指す。
インドネシア	10	16	ジャカルタ首都圏の中華系・ムスリム系富裕層家族の団体旅行について、旅行イベントや旅行博出展、公告を通じてゴールデンルートを中心とする認知度向上を図りつつ、旅行商品造成、共同公告による販売促進を行う。5月にJNTOジャカルタ事務所開設を機に集中キャンペーンを行う。
ベトナム	6	8	ハノイ、ホーチミンの富裕層家族の団体旅行について、メディア露出や旅行イベントを通じて認知度向上を図りつつ、旅行商品造成、共同公告による販売促進を行う。
フィリピン	9	11	メトロマニラの富裕層家族の団体旅行について、メディア露出や旅行イベントを通じて認知度向上を図りつつ、旅行商品造成、共同公告による販売促進を行う。
インド	7	7	デリー、ムンバイの富裕層向けに、旅行博出展等を通じて認知度向上を図りつつ、旅行会社への働きかけにより商品造成促進を行う。
英国	17	19	30～40代の高学歴FIT旅行者に向けた航空会社との共同公告、50～60代の団体旅行の本格回復を目指した旅行会社との共同公告を実施する。また、欧州から日本への新規路線や増便(経由便を含む)を契機にメディア露出等による需要喚起を図る。
ドイツ	11	12	30～40代のビジネスマンとその家族に向けた航空会社との共同公告、50～60代の団体旅行の本格回復を目指した旅行会社との共同公告を実施する。また、欧州から日本への新規路線や増便(経由便を含む)を契機にメディア露出等による需要喚起を図る。
フランス	13	15	30～40代の高学歴FIT旅行者に向けた航空会社との共同公告、50～60代の団体旅行の本格回復を目指した旅行会社との共同公告を実施する。また、欧州から日本への新規路線や増便(経由便を含む)を契機にメディア露出等による需要喚起を図る。
ロシア	5	6	モスクワ、サンクトペテルブルグの30～50代の高学歴層向けに、旅行博出展等を通じて認知度向上を図りつつ、旅行会社への働きかけにより商品造成促進を行う。
米国	72	80	大都市居住の高所得者層等に対し特別な日本文化体験等のPR、アジア系米国人層に対し新たなルートのPRを行うとともに、共同公告による訪日旅行商品の販売促進を図る。また、これらを顧客に持つ旅行会社に対し、商品造成・販売を支援する。
カナダ	14	16	都市圏在住の富裕中高年層向けに伝統と現代文化、中華系カナダ人向けに里帰り時の訪日をPRし、これらに対する販売網と集客力を持つ旅行会社と共同公告を行う。
豪州	21	25	30～50代の富裕層家族のFITについて、ゴールデンルート、スノーリゾートに加え、新たな訪問地をPRするとともに、共同公告や経由便を含む航空会社との連携による販売促進を行う。

単位:万人) ※千人単位は四捨五入 ※2012年実績は確定値

用語集

アフターコンベンション

見本市・シンポジウム・博覧会などコンベンション後の催しや懇親会のこと。アフターコンベンションの充実は開催成功を左右する、とても重要な要素の一つとされています。

エージェント

旅行代理店のこと。交通・宿泊・その他の旅行商品を仲介（あるいは自社で企画・催行）して販売しています。

オープンスカイ

1944年に米シカゴで締結された「国際民間航空条約（シカゴ条約）」に基づき、航空会社の乗り入れ・便数・運賃等に関しては2国間の航空協定で決めることになっていた規制を撤廃（自由化）するものです。自国の空港を広く開放することで、人・物の流通を促進し経済効果を高めることが期待されています。

グリーン・ブルーツーリズム

農村や漁村に滞在し、地域の人々との交流や農漁業体験などを楽しむ旅行のこと。都市住民に自然や地元の人とふれあえる機会を提供するとともに、農山漁村の活性化や新たな産業の創出による若年層の定住促進にもつながることから、国では95年にグリーンツーリズムの振興を支援する法律を制定しています。

ゴールデンルート

メジャーで人気のある観光スポットを回る旅行の行程のことを指します。訪日旅行で言えば、成田空港から入国し、東京・京都・大阪を回るルートなどが挙げられます。

サブカルチャー

下位文化・副文化と訳され、社会の正統的・伝統的な文化に対し、その社会に属するある特定の集団が持つ文化のこと。例として大衆文化・若者文化等が挙げられます。

セールスコール

商品を直接販売につなげるアプローチのこと。近年海外の旅行業者等へ向けて観光PRを行う自治体も増えています。

ブロガー

ブログを書いている人を指し、ブロガーの中でも多くの読者を抱えるパワーブロガーのブログは、読者の旅行先や宿泊施設の選択などに影響を与えています。

訪日教育旅行

海外からの児童、生徒が引率者に伴われて、日本の学校などを団体で訪問する旅行を指します。

マルチビザ

短期滞在数次査証とも呼ばれ、一定の要件を満たす外国人を対象に、有効期間(1年、3年又は5年)内に何度でも日本に使用可能な短期滞在ビザを指します。

ムスリム

アラビア語で、イスラム教徒のこと。世界中で11億人の信徒がいると推定され、西アジア・北アフリカ・中央アジア・南アジア・東南アジアが最もムスリムの多い地域とされています。

ユニバーサルツーリズム

すべての人が楽しめるよう創られた旅行のこと。高齢者や制約の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指しています。

ICT (Information and Communications Technology)

情報・通信に関連する技術一般の総称。従来用いられてきた「IT」とほぼ同様の意味で用いられるもので、「IT」に替わる表現として日本でも定着しつつあります。多くの場合「情報通信技術」と和訳され、すでに海外では、「IT」よりも「ICT」の方がよく通る名称として通用するようになっています。

LCC (Low Cost Carrier)

格安航空会社のこと。特定区間の運航に限定、使用機材の統一、機内サービスの軽減等により航空運賃の大幅な低廉化を実現。運航ネットワークの規模や多様なサービスを競ってきた従来の航空会社とは異なる戦略で、格安運賃を売り物に急成長を遂げています。

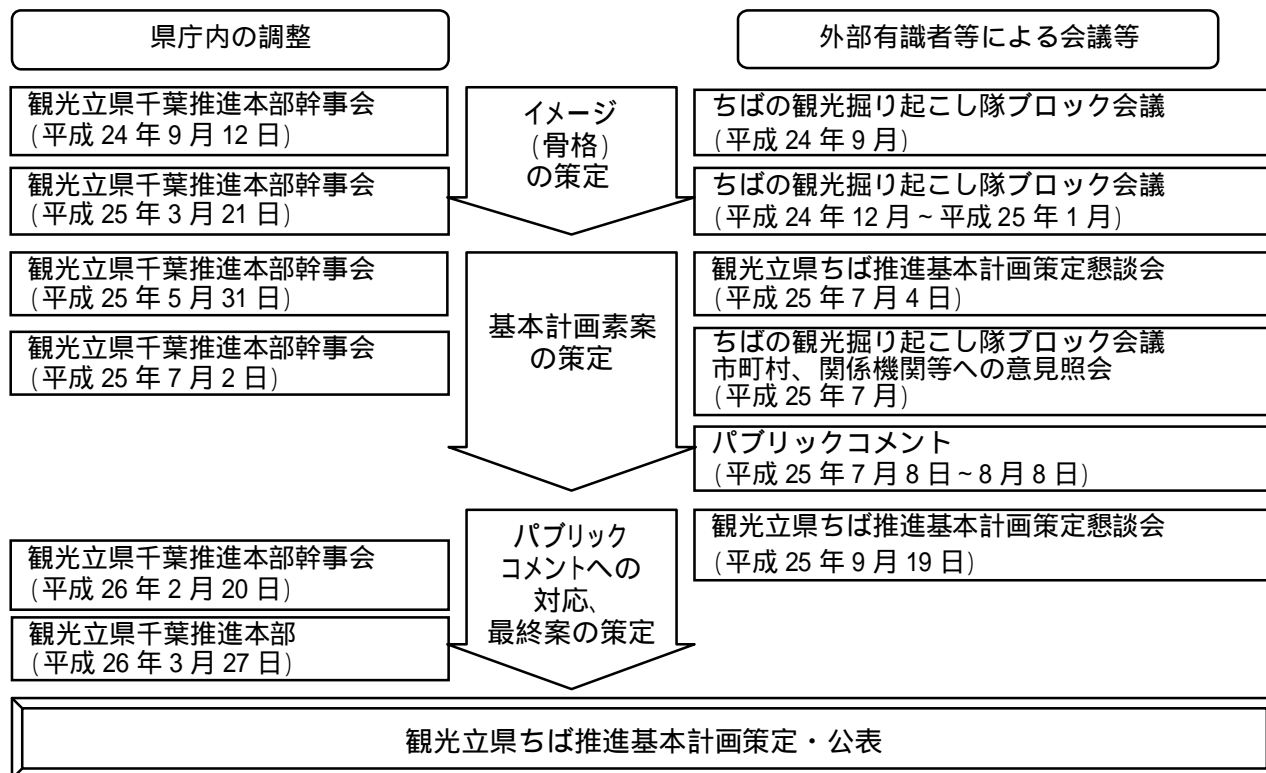
MICE

Meeting (会議・研修・セミナー)、Incentive tour (報奨・招待旅行)、Convention または Conference (大会・学会・国際会議)、Exhibition (展示会)の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一形態を指します。

SNS (Social Networking Service)

人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型の会員制ネットワークサービス、またはそのサービスを提供するウェブサイトのこと。友人・知人間のコミュニケーションを円滑化する手段や、共通の趣味・嗜好を持った新たな人間関係を構築する場を提供しています。

策定の経過



観光立県ちば推進基本計画策定懇談会

計画の重要事項等に関し、観光に携わる事業者、関係者、有識者の意見を聴き、計画策定に資するため、観光立県ちば推進基本計画策定懇談会を設置する。

：座長

所属・役職	氏名(五十音順)
松戸シティガイド 相談役 千葉県ボランティアガイド連絡協議会 会長	石上 瑠美子
株式会社ちば南房総 取締役	加藤 文男
割烹旅館清都 女将	清都 みちる
佐原商工会議所 事務局長	椎名 喜子
跡見学園女子大学マネジメント学部 観光マネジメント学科 准教授	篠原 靖
一般社団法人銚子市観光協会 観光アテンダント	鈴木 彩子
宝家 若女将	鈴木 希依子
温泉と宿のライター	野添 ちか子
マロウドインターナショナル成田 総支配人	早川 康一
早野商事株式会社 代表取締役社長	早野 泰広
城西国際大学観光学部 学部長・教授	渡辺 淳一

ちばの観光掘り起こし隊

本県の新たな観光資源や既存の観光資源の新たな魅力を掘り起こし、将来の本県観光の方向性を検討するため、県庁関係各課、地域振興事務所及び市町村、市町村観光協会、商工会議所・商工会等からなる「ちばの観光掘り起こし隊」を設置。

県内を6つのブロック(ベイエリア、東葛飾、北総、九十九里、南房総、かずさ・臨海、)に分け、民間事業者も参加し、各地域でブロック会議を開催。

千葉県観光立県の推進に関する条例（平成20年3月28日公布）

前文

日常の生活から離れ、普段とは異なる自然や生活に接することは、新たな出会いと自己の発見のきっかけとなる。ときには、そのことが人の考え方や生き方をも変える可能性を持つ。人々は、日常、自らが身を置く環境にはないものにあこがれ、気に入った土地に滞在することも含めて、観光を生活の一部としてとらえるようになってきた。

千葉県は、海に抱かれ、年間を通じて陽光に恵まれて、その温暖な気候は、県の花である菜の花に象徴されている。明るい日ざしの中、人々は特徴的な地形である谷津を中心に形成された里山や沿岸の人々が守り育ててきた海辺等を舞台として生活を営んできた。

さらに、このような気候や風土にあこがれ、多くの人々が訪れ、交流を重ねながら、産業の発展とともに移り住み、都市と農山漁村とが共存する現在の千葉県が形づくられている。

このように、千葉県は、自然、生活、産業等の多様な特色を有し、都市も農山漁村も多くの人をひきつける力を持っている。特に、里山のような自然と生活とが調和を保ちながら結び付いた場がほぼ全域に存在することは、千葉県の大きな特色となっている。このことは、あらゆる人が、このような場に身を置き、そこに存在するあるがままの自然や生活に接することができるということであり、観光を生活の一部としてとらえる上で、千葉県が大きな可能性を有していることを意味する。

ところで、観光を通じた地域づくりの努力や取組は、来訪者との交流等と相まって、新たな文化を創出し、経済の持続的な発展をもたらすとともに、県民の郷土への誇りと愛着を培い、地域をより魅力的なものとしていく。

そのためには、観光に携わる事業者だけでなく、県民、企業、大学、行政等が、継承されてきた千葉県の豊かな自然を次代に引き継ぎつつ、県内のすべての地域において、多様な特色を生かし、来訪者をもてなす心をもって、地域や分野を越えて連携し、一体となって観光の振興に取り組むことが重要である。

そこで、観光立県の実現について、基本理念を明らかにしてその方向性を示し、二十一世紀にふさわしい観光の舞台となる千葉県を実現するため、ここに千葉県観光立県の推進に関する条例を制定する。

（目的）

第1条 この条例は、観光立県の実現について、基本理念を定め、県の責務及び県民、事業者等の役割を明らかにするとともに、観光立県の実現に関する施策の基本となる事項を定めることにより、観光立県の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって魅力ある活力に満ちた地域社会を実現し、並びに県の文化の振興に資するとともに、県の経済の健全な発展及び県民生活の向上に寄与することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 多様な主体 地域住民、地域住民を構成員とする団体、事業者、事業者を構成員とする団体、大学その他の教育機関、地方公共団体その他の地域社会を構成する主体をいう。
- (2) 観光資源 地域の生活、自然、歴史、伝統、文化、産業その他の観光の振興に資する資源をいう。
- (3) 観光づくり地域活動 多様な主体が、その自発的意思に基づき、創意工夫を生かして、観光資源を保全するとともに、これを育成すること、観光資源となり得るものを発見し、これを観光資源とすること及び観光資源の魅力を積極的に伝えること並びに観光資源を活用して地域に来訪する者（当該地域に居住する者以外の者で当該地域に長期的に滞在するものを含む。以下同じ。）との交流に取り組むことをいう。

（基本理念）

第3条 観光立県は、観光づくり地域活動を促進することにより、魅力ある活力に満ちた地域社会の形成を図ることが特に重要であるという認識の下に、その実現が図られなければならない。

- 2 観光立県は、多様な主体が行う又は多様な主体と地域に来訪する者とが一体となって行う観光づくり地域活動その他の魅力ある活力に満ちた地域社会の形成に向けた取組により、多様な主体と地域に来訪する者との間の交流（以下「来訪者との交流」という。）を一層促進することが重要であるという認識の下に、その実現が図られなければならない。
- 3 観光立県は、多様な事業の分野における特色ある事業活動から構成される観光産業（以下「観光産業」という。）の振興を図ること及び観光産業と農業、漁業、製造業その他の産業（以下「多様な産業」という。）との有機的な連携を図ることにより、地域の産業活動、社会活動、文化活動その他の活動を活発にし、魅力ある活力に満ちた地域社会の形成を図ることが重要であるという認識の下に、その実現が図られなければならない。
- 4 観光立県の実現に関する施策を講ずるに当たっては、本県には成田空港が設置されているという特性及び港湾がその本来の機能のほか人々の交流の拠点としての機能をも有するという特性が最大限に活用されるよう配慮されなければならない。

- 5 観光立県の実現に向けた取組は、地域の生活環境、自然環境及び景観を維持しつつ、継続してこれらとの調和を図ることが地域の魅力を増進させるという認識の下に行われなければならない。

(県の責務)

第4条 県は、前条に規定する基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、観光立県の実現に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(県と市町村との連携)

第5条 県は、観光立県の実現に関する施策の策定及び実施に当たっては、市町村と連携するとともに、市町村が実施する観光に関する施策について、市町村に対し、情報の提供、技術的な助言その他の必要な支援を行うよう努めなければならない。

(県民の役割)

第6条 県民は、基本理念にのっとり、観光立県に対する関心及び理解を深めるとともに、地域の魅力を増進させ、及び地域に訪れる者に対し、その立場に立って対応するよう努めるものとする。

- 2 県民は、基本理念にのっとり、県が実施する観光立県の実現に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第7条 事業者は、基本理念にのっとり、観光資源(観光資源になり得るものを含む。)が自らの事業活動に活用できるものであること又は自らの事業活動が観光づくり地域活動に資するものであることを認識するとともに、自らの事業活動と多様な事業の分野における事業活動との連携その他の自らの創意工夫による事業活動を行うよう努めるものとする。

- 2 事業者は、基本理念にのっとり、県が実施する観光立県の実現に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(観光関係団体の役割)

第8条 観光の振興その他の観光に関する活動を行う法人その他の団体(以下「観光関係団体」という。)は、基本理念にのっとり、多様な主体が連携して行う観光立県の実現に向けた取組の促進、観光に関する情報の発信その他の観光宣伝活動の実施、地域に訪れる者を適切にもてなすための情報の提供その他の必要な措置の実施、県民の観光立県に対する関心及び理解の増進その他の観光立県の実現に向けた取組に努めるものとする。

- 2 観光関係団体は、基本理念にのっとり、県が実施する観光立県の実現に関する施策に積極的に協力するよう努めるものとする。

(観光立県推進基本計画)

第9条 知事は、観光立県の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、観光立県の実現に関する基本的な計画(以下この条において「観光立県推進基本計画」という。)を定めなければならない。

- 2 観光立県推進基本計画においては、次の各号に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 観光立県の実現に関する施策についての基本的な方針
(2) 観光立県の実現に関する目標
(3) 観光立県の実現に関し、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策
(4) 前各号に掲げるもののほか、観光立県の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 3 知事は、観光立県推進基本計画を定め、又は変更するに当たっては、あらかじめ、事業者、観光関係団体、観光に関する識見を有する者その他の関係者の意見を聴くとともに、その案を公表し、広く県民等の意見を求めなければならない。

- 4 知事は、観光立県推進基本計画を定め、又は変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

(観光づくり地域活動の促進)

第10条 県は、観光づくり地域活動を促進するために必要な施策を講ずるものとする。

- 2 県は、前項の施策を講ずるに当たっては、それぞれの多様な主体が有機的に連携して観光づくり地域活動を行うことができるよう努めなければならない。

(観光立県の実現のための基盤整備等)

第11条 県は、道路、鉄道、港湾その他の観光の基盤となる交通施設(以下「交通施設」という。)及び宿泊施設、来訪者との交流のための施設、案内施設その他の観光づくり地域活動に資する施設(以下「観光関連施設」という。)の整備並びに観光に関する情報の提供等に関する機能の充実に必要な施策を講ずるものとする。

- 2 県は、前項の施策を講ずるに当たっては、地域の生活環境、自然環境及び景観の維持並びにこれらとの調和に配慮しなければならない。

(地域への来訪の促進等)

第12条 知事は、来訪者との交流を促進するための行事が総合的かつ集中的に実施されるための環境の整備並びに国外又は県内外からの地域への来訪及びこれによる来訪者との交流の促進のために必要な情報の発信その他の広報宣伝の重点的かつ効果的な実施に関し必要な施策を講ずるものとする。

- 2 県は、国際会議、展示会、スポーツの競技会その他の地域への来訪の促進に資する行事の開催を増加させるため、当該行事の誘致の促進及び開催の円滑化に関し必要な施策を講ずるものとする。
- 3 県は、前項の施策を講ずることにより来訪した者の他の地域への来訪及びこれによる来訪者との交流の促進に関し必要な施策を講ずるものとする。

(成田空港を利用する外国人来訪者の地域への来訪の促進等)

第13条 知事は、成田空港を利用して来訪する外国人(以下この条において「外国人来訪者」という。)の地域への来訪及びこれによる多様な主体と外国人来訪者との間の交流(次項において「外国人来訪者との交流」という。)を促進するため、本県の観光資源の効果的な広報宣伝の実施に関し必要な施策を講ずるものとする。

- 2 県は、外国人来訪者との交流を促進するため、交通施設及び観光関連施設の整備、通訳案内のサービスの向上その他の外国人来訪者の受入れの体制の整備に関し必要な施策を講ずるものとする。

(来訪者を適切にもてなすこと等による来訪者との交流の促進)

第14条 知事は、来訪者との交流を促進するため、多様な主体に対し、観光資源に関する理解及び来訪者との交流に対する意欲を増進し、並びに地域に来訪する者を適切にもてなすための情報及び学習の機会の提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

- 2 県は、地域に来訪する者の利便の増進を図ることにより来訪者との交流を促進するため、地域に来訪する者のうち高齢者、障害者、外国人その他の特に配慮を要するものが円滑に利用できる観光関連施設及び公共施設の整備並びにこれらの利便性の向上、情報通信技術を活用した観光に関する情報の提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

(観光産業の振興)

第15条 知事は、観光産業の経営基盤の強化を図るため、資金供給の円滑化、相談及び支援を行う体制の充実その他の必要な施策を講ずるものとする。

- 2 知事は、前項の施策のほか、観光産業の振興を図るため、観光産業と多様な産業との有機的な連携を促進するとともに、新たな観光に関する事業の創出及び育成のための資金供給の円滑化、相談及び支援を行う体制の充実その他の必要な施策を講ずるものとする。

(観光の振興に寄与する人材の育成)

第16条 県は、観光の振興に関し意欲及び知識を有する者並びに観光に関する事業における指導者の育成を図るため、観光又は観光に関する事業の振興に関する社会教育の充実及び専門家の派遣、観光資源に関する情報の提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

- 2 知事は、大学又は専修学校が観光の振興に寄与する人材を育成するため自主的に事業を実施する場合には、その求めに応じて、これに協力するよう努めるものとする。

(観光づくり地域活動に関する学習の振興等)

第17条 県は、青少年をはじめ広く県民があらゆる機会を通じて観光に対する関心及び理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育における観光づくり地域活動に関する学習の振興並びに観光づくり地域活動に関する啓発及び知識の普及に関し必要な施策を講ずるものとする。

(統計調査その他の調査及び研究)

第18条 知事は、観光立県の実現に関する施策を効果的に推進するため、統計調査その他の必要な調査及び研究を行うものとする。

(財政上の措置)

第19条 県は、観光立県の実現に関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるものとする。

(観光立県の実現のための体制の整備)

第20条 知事は、県と事業者、観光関係団体その他の関係者とが協働して観光立県の実現に向けた取組を行うための体制を整備するものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

第2次観光立県ちば推進基本計画

～おもてなし半島・ちば～

平成26年3月刊行

千葉県

編集：千葉県商工労働部観光企画課

TEL：043-223-2415

FAX：043-225-7345

<http://www.pref.chiba.lg.jp/>